

平成29年度 札幌市学習実現状況調査

実 施 報 告 書

平成30年8月

札幌市教育委員会

は じ め に

札幌市では、札幌市教育振興基本計画において「分かる・できる・楽しい授業の推進」及び「課題探究的な学習の推進」を重要項目として位置付け、「学ぶ力」の三要素である「学ぶ意欲（主体的に学習に取り組む態度）」「学んだ力（基礎的・基本的な知識及び技能）」「活かす力（思考力・判断力・表現力等）」をバランスよく育む教育を推進しております。

その取組の一環として、本年２月、小学校第５学年及び中学校第２学年の児童生徒を対象に、「札幌市学習実現状況調査」を実施しました。これは、全国学力・学習状況調査の調査対象教科になっていない社会及び英語に関する調査、学習に関するアンケートを行うことによって、学習指導要領における各教科の目標や内容に照らした学習状況を把握し、指導上の課題を明らかにした上で、今後の教育課程の編成や指導の改善に資することを目的とするものです。

このたび、調査結果の詳細な分析を行うとともに、これまでの調査結果との経年比較を行うなどして明らかになった指導上の課題と、それらの改善を図るための方向性を取りまとめ、実施報告書を作成いたしました。

今回の調査結果では、いずれの教科のどの観点においても前回調査と比べて結果が改善しているものの、「自分の意見を進んで話そうとすること」や「複数の資料から必要な情報を読み取ること」「意味理解を伴った知識・技能の習得」「家庭での学習習慣の確立」などに課題が見られ、それらに対応した指導方法の工夫・改善を図っていく必要があると考えております。

本実施報告書が、各学校の「学ぶ力」育成プログラムに基づく、分かる・できる・楽しい授業づくりや課題探究的な学習を取り入れた授業の充実、家庭・地域との連携強化などの取組において積極的に活用され、児童生徒に「自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質や能力等」の「学ぶ力」を育む教育の更なる充実が図られることを期待しております。

平成30年 8 月

札幌市教育委員会

教育長 長谷川 雅 英

目 次

I 調査の概要	1
II 結果の全体概要	2
1 教科に関する調査（学習到達度調査）結果の全体概要	2
2 学習意識調査及び学習についてのアンケートの結果の全体概要	2
III 課題と改善の方向	3
1 今回の調査における課題及び改善の方向	3
2 新学習指導要領を踏まえた学習指導等の改善について	4
IV 教科別分析概要及び課題と改善の方向	6
1 小学校第5学年	6
(1) 全体概要	6
(2) 小学校社会	7
(3) 学習についてのアンケート（小学校）	12
2 中学校第2学年	24
(1) 全体概要	24
(2) 中学校社会	26
(3) 中学校英語	32
(4) 学習についてのアンケート（中学校）	38

I 調査の概要

II 結果の全体概要

III 課題と改善の方向

I 調査の概要

1 目的

札幌市の教育課程の実施状況について、学習指導要領における各教科の目標や内容に照らした学習状況を把握し、指導上の課題等を明らかにした上で、今後の教育課程の編成や指導の改善に資すること。

2 対象及び教科

- ・ 小学校第5学年 社会（学習到達度調査、学習意識調査）、学習についてのアンケート
- ・ 中学校第2学年 英語、社会（学習到達度調査、学習意識調査）、学習についてのアンケート

3 実施日程

平成30年2月27日

4 受検人数等

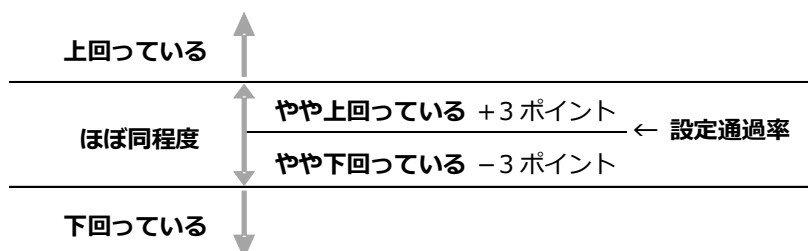
	社会	英語	学習についてのアンケート
小学校第5学年	1037人	—	1037人
中学校第2学年	1007人	1006人	1007人

※調査対象は、市立学校に在籍する実施学年全児童生徒数の約7%
札幌市教育委員会が対象学校及び学級を無作為抽出

5 用語の説明

用 語	説 明
設定通過率	設定通過率は、各設問においてあらかじめ設定された、学年として期待される通過率（正答率）を領域や観点などの項目ごとに括って平均したものである。
札幌市の通過率	札幌市の通過率は、各設問における本市児童生徒の通過率（正答率）を領域や観点の項目ごとに括って平均したものである。

※今回の調査では、札幌市の通過率が設定通過率と比較して±3ポイントの範囲内であれば、「ほぼ同程度である」と捉えている。



Ⅱ 結果の全体概要

1 教科に関する調査（学習到達度調査）結果の全体概要

【小学校】

社会における教科全体の通過率は設定通過率とほぼ同程度である。（-0.5ポイント）

【中学校】

社会における教科全体の通過率は設定通過率とほぼ同程度である。（+1.3ポイント）

英語における教科全体の通過率は設定通過率を上回っている。（+3.8ポイント）

■ **小学校社会**においては、「社会的な思考・判断・表現」「観察・資料活用の技能」「社会的事象についての知識・理解」の全ての観点で設定通過率とほぼ同程度である。（順に、+1.1ポイント、+0.2ポイント、-1.8ポイント）

■ **中学校社会**においては、「社会的な思考・判断・表現」「資料活用の技能」「社会的事象についての知識・理解」の全ての観点で設定通過率とほぼ同程度である。（順に、+0.1ポイント、+0.6ポイント、+2.4ポイント）

■ **中学校英語**においては、「外国語理解の能力」の観点で設定通過率とほぼ同程度である（+2.5ポイント）が、「外国語表現の能力」「言語や文化についての知識・理解」の観点で、設定通過率を上回っている。（順に、+5.4ポイント、+5.0ポイント）

2 学習意識調査及び学習についてのアンケートの結果の全体概要

◎「学ぶ方法」の中でも、教科学力との関係が大きい項目

□小中学校共通

「調べて分かったことをもとに、考えをまとめることができる」

「授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている」

□小学校

「調べたことを、パソコンを使ってまとめたり、発表したりすることができる」

「自分の意見や考えを相手に分かりやすく伝えることができる」

□中学校

「分からないことはそのままにせず、分かるまで努力している」

「意見を書くときには、その理由をはっきりさせて書くようにしている」

Ⅲ 課題と改善の方向

1 今回の調査における課題及び改善の方向

今回の調査における課題

改善の方向

小学校

社会

- 社会的事象に関する基本的な知識を身に付けること
- 知識を用語として覚えるだけでなく、関連する事柄や背景と結び付けて理解すること
- 複数の資料やグラフを結び付けて、必要な情報を読み取ること
- 社会的事象について、調べたことや考えたことをまとめ、的確に表現すること

- 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えながら知識を身に付けることができるような指導の工夫
- 地図や写真等を活用し、知識を用語としてだけでなく、関連する事柄と結び付けて捉えることができるような活動の充実
- 複数の資料から読み取った情報を結び付けながら、話し合いを通じて問題解決を図る活動の充実
- 自分の考えや調べたことを、分かりやすくまとめて説明するなどの表現活動の充実

中学校

社会

- 資料から必要な情報を読み取ること
- 日本の諸地域について、地域の特色ある地理的な事象を他の事象と関連付けて考察すること
- 各時代の特色を踏まえて歴史の大きな流れを理解すること
- 調べたことや考えたことをまとめ、的確に文章で表現すること

- 複数の資料から課題の解決に必要な情報を的確に読み取り、考えたことを伝え合う活動の充実
- 各地域の特色について、事象間の関連を追究したり、説明したりするなど、地理的な見方・考え方を働かせる活動の充実
- 政治の展開、産業の発達、社会の様子、文化の特色など、他の時代との共通点や相違点に着目して、各時代の特色を考察し、説明する活動の充実
- 既習の知識と関連付けたり組み合わせたりして考察し、その結果を表現する活動の充実

英語

英語

- まとまりのある英文を読んで、内容を正確に理解すること
- 文のつながりを意識し、場面にふさわしい英語表現を考え、活用すること
- 自分自身の考えや身近な出来事などについて、場面にふさわしい英語で表現すること

- キーワードを意識するなどして、情報を整理しながら、文章のあらすじや内容を正確に読み取ることを促す指導の工夫
- 文脈の中で場面の状況・目的を捉え、ふさわしい英語表現を考え活用する活動の充実
- 生徒の興味・関心の高い題材を選定し、表現するためのヒントとなるような語彙や定型文を例示するなどの指導の工夫

2 新学習指導要領を踏まえた学習指導等の改善について

(1)「学ぶ力」と「育成すべき資質・能力の三つの柱」の関連について

札幌市では、「学ぶ力」を「自ら課題を見付け、自ら学び、よりよく問題を解決する資質や能力等」と定義しており、その育成に向けては、「学ぶ意欲（主体的に学習に取り組む態度）」「学んだ力（基礎的・基本的な知識及び技能）」「活かす力（思考力・判断力・表現力等）」の3要素をバランスよく育む教育を推進する必要がある。

平成29年3月に告示された新しい学習指導要領では、「生きる力」をより具体化し、教育課程全体を通して育成を目指す資質・能力を、ア「何を理解しているか、何ができるか（生きて働く「知識及び技能」の習得）」、イ「理解していること・できることをどう使うか（未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」の育成）」、ウ「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」の涵養）」の三つの柱に整理して示している。「学ぶ力」を支える三つの力と、新学習指導要領で育成すべきとされた資質・能力の三つの柱は同様のものと捉えることができる。

何を理解しているか、何ができるか（知識及び技能）→「学んだ力」

理解していること・できることをどう使うか（思考力、判断力、表現力等）→「活かす力」

どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性等）→「学ぶ意欲」

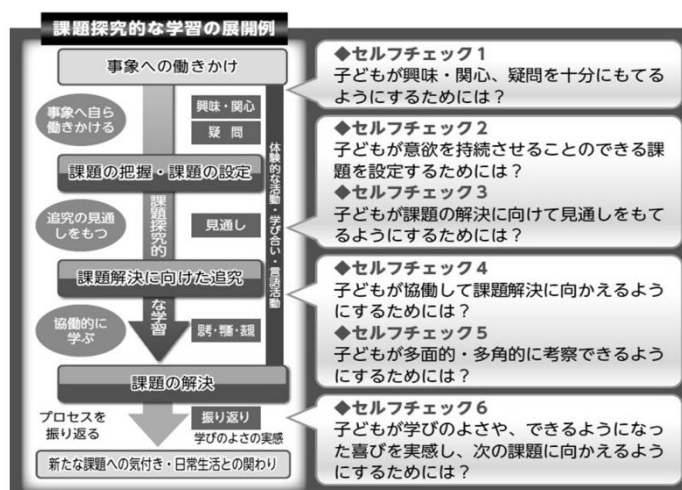
子どもに「学ぶ力」を育むとともに、好ましい学習習慣を身に付けるために、新学習指導要領を踏まえ、次の(2)～(4)のような観点から指導方法等についての工夫改善を行うことが考えられる。

(2)「課題探究的な学習」を取り入れた授業の工夫改善について

札幌市では「課題探究的な学習」を「自ら疑問や課題をもち、主体的に解決する学習」と定義し、推進している。新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めることにより、生きて働く知識及び技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力を育成することを目指しており、これは、札幌市が推進している「課題探究的な学習」を取り入れた授業と軌を一にする取組と言える。すなわち、「課題探究的な学習」の一層の充実を図ることが、新学習指導要領の趣旨に沿った授業改善につながると考えられる。

今回の調査においては、「自分の意見を進んで話そうとすること」や「複数の資料から必要な情報を読み取ること」「意味理解を伴った知識・技能の習得」「家庭での学習習慣の確立」などの課題が明らかとなっている。

これらの課題の改善に向け、1単位時間の授業や、単元や題材を通じた長いまとまりの中で、子ども一人一人の学びが深まるよう教科等の特質を踏まえ、各学校の子どもの実態に応じて、柔軟に授業を展開することが大切である。



各学校においては、本実施報告書と併せて、昨年度各小中学校に配布した「教育課程編成の手引―移行措置に関する資料―」を積極的に活用しながら、自校の「学ぶ力」育成プログラムを中核とし、上の図にある6つのセルフチェックを活用し、課題探究的な学習の充実、指導方法等の工夫・改善をより一層進め、子どもに資質・能力を育むことが重要となる。

(3) 「学ぶ力」育成プログラムの活用について

札幌市の各学校においては、平成 26 年度から毎年、「学ぶ力」育成プログラムを作成・実施している。これは、札幌市全体の共通指標としている 20 項目の学習についての子どもの自己評価アンケートをはじめ、各学校における様々な調査やデータを分析し、子どもの状況を把握した上で、教育課程を編成・実施することを表したものである。また、取組について検証・改善を図るために活用できるよう、具体的な取組についての検証や課題についても示すものである。

さらに、平成 29 年度からは、このプログラムにおいて、自校の子どもの「学ぶ力」の実現状況を踏まえて、「学ぶ力」育成のための 5 つのポイントからいずれかを重点化し、指導方法等の課題を明確化して、全教職員で目標を共有しながら実行するものとしている。そして、その取組の改善に向けて全教職員で目標を評価し、改善を図るという検証改善サイクルの確立が課題の改善につながっていく。本調査の結果を踏まえ、取組の検証・改善を一層進めることが有効である。

併せて、新学習指導要領では、小学校及び中学校 9 年間を通して育成を目指す資質・能力を明確化し、その後の学びに円滑に接続することの重要性が示された。例えば、同一中学校区内の学校間で「学ぶ力」育成プログラムを介して、育成を目指す資質・能力や教育目標、それらに基づく教育課程編成の基本方針などを共有し、改善を図ることで、より一層課題の改善につながっていく。

(4) 学習習慣等の習慣づくりに向けた取組について

今回の調査で明らかになった「家庭での学習習慣の確立」という課題については、学校と家庭、地域が連携を深めることで一層の改善が期待される。学習習慣だけではなく、運動習慣・生活習慣づくりにについても、家庭や地域と取組やその成果と課題を共有し、連携及び協働のもとに教育活動を充実させていくことが有効である。

教育委員会では、新学習指導要領で示された「社会に開かれた教育課程」の理念に基づき、各学校において、教育目標を含めた教育課程の編成についての基本的な方針を家庭や地域と共有していくことは、今後ますます重要と考え、家庭向けリーフレット「さっぽろっ子『学び』のススメ」を作成し、平成 29 年度から毎年、各学校を通して家庭に配布している。

このリーフレットは、札幌市の学校教育における子ども観・教育観を学校、家庭、地域が共有し、一体となって、子どもの学習習慣・運動習慣・生活習慣づくりを支える指針となるものである。リーフレットにある「まほうのかいわ」とは、「学ぶ力」の育成に向けて大切な 5 つのポイントを家庭向けの表現にし、その頭文字を取ったものである。この「まほうのかいわ」を合言葉として活用しながら、「札幌市の学校教育における子ども観・教育観」を学校から家庭、地域に丁寧に伝え、理念を理解し、共有した上でそれぞれの立場から子どもに関わっていくことができるよう、子ども、家庭、地域の状況や発達の段階に合わせて、習慣づくりに向けた取組を具体化することが重要である。

【参考】

- ・札幌市課題探究的な学習推進方針（平成 29 年 3 月策定）
- ・札幌市小学校教育課程編成の手引－移行措置に関する資料－（平成 30 年 2 月発行）
- ・札幌市中学校教育課程編成の手引－移行措置に関する資料－（平成 30 年 2 月発行）

IV 教科別分析概要及び 課題と改善の方向

1 小学校第5学年

(1) 全体概要

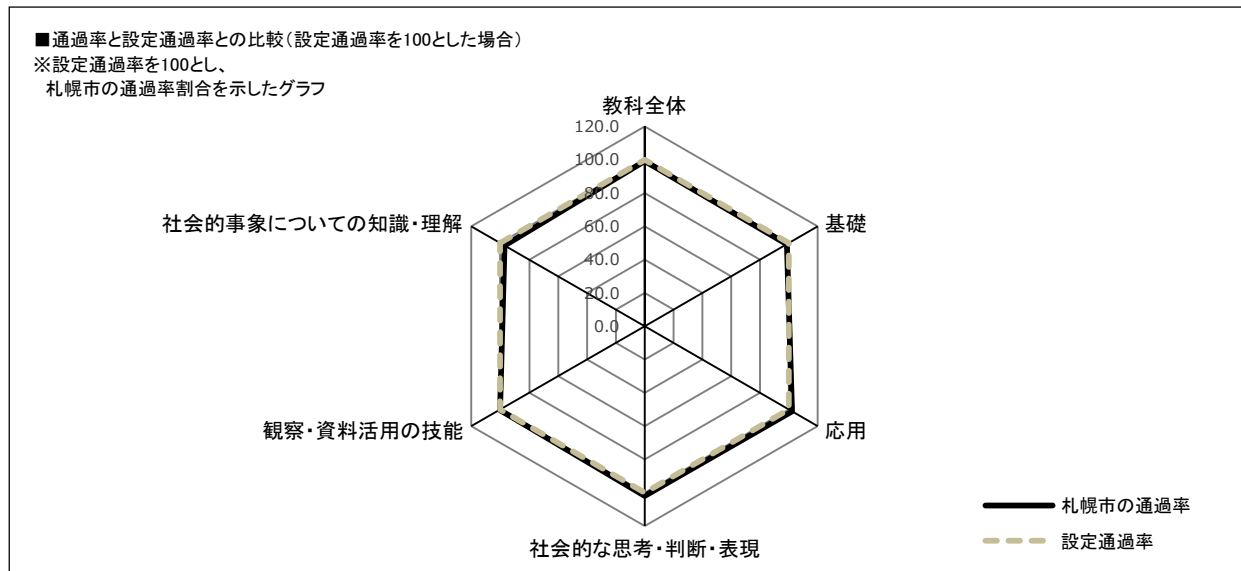
(2) 小学校社会

Ⅳ 教科別分析概要及び課題と改善の方向

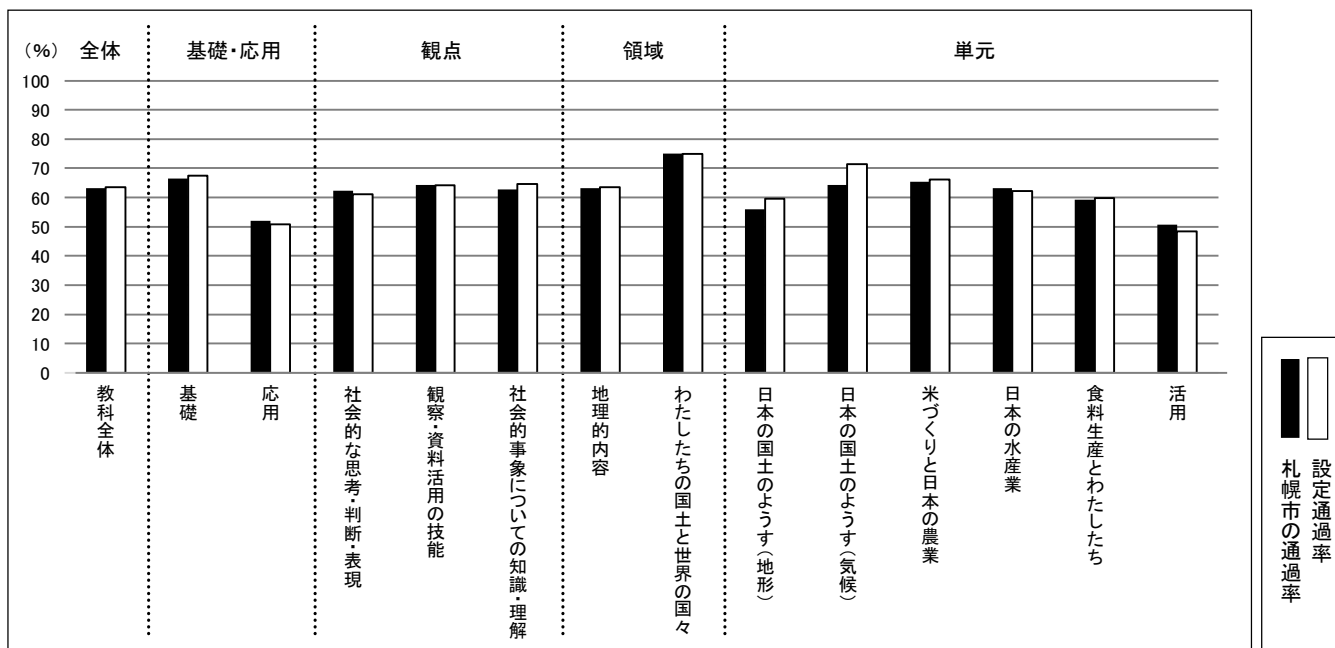
1 小学校第5学年

(1) 全体概要

■通過率と設定通過率との比較（社会）



■全体概要（社会）



【通過率】

- ・教科全体を見ると、札幌市の通過率は 63.1%であり、設定通過率とほぼ同程度であるがやや下回っている。
- ・基礎と応用別で見ると、「基礎」は設定通過率とほぼ同程度であるがやや下回り、「応用」はほぼ同程度であるがやや上回っている。
- ・観点別に見ると、「社会的な思考・判断・表現」「観察・資料活用の技能」は設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回り、「社会的な事象についての知識・理解」はほぼ同程度であるがやや下回っている。
- ・単元別に見ると、設定通過率とほぼ同程度のものが多いが、「日本の国土のようす（地形）」「日本の国土のようす（気候）」については設定通過率を下回る状況となっている。

(2) 小学校社会

■通過率と設定通過率との比較

	項目	平成20年度			平成23年度			平成26年度			平成29年度		
		札幌市の通過率(平均)	設定通過率(平均)	札幌市の通過率と設定通過率との差	札幌市の通過率(平均)	設定通過率(平均)	札幌市の通過率と設定通過率との差	札幌市の通過率(平均)	設定通過率(平均)	札幌市の通過率と設定通過率との差	札幌市の通過率(平均)	設定通過率(平均)	札幌市の通過率と設定通過率との差
観点	教科全体	76.0	75.3	0.7	66.0	66.2	-0.2	63.0	69.9	-6.9	63.1	63.6	-0.5
	基礎	78.1	77.4	0.7	67.8	69.0	-1.2	64.8	72.0	-7.2	66.5	67.4	-0.9
	応用	71.0	70.4	0.6	62.5	60.6	1.9	55.1	60.9	-5.8	52.0	50.8	1.2
	社会的な思考・判断・表現	74.5	73.8	0.7	66.1	64.6	1.5	54.5	59.4	-4.9	62.3	61.2	1.1
	観察・資料活用の技能	74.5	73.9	0.5	66.7	65.6	1.1	74.4	76.2	-1.8	64.4	64.2	0.2
	社会的事象についての知識・理解	76.5	75.8	0.7	65.5	65.7	-0.2	62.2	72.8	-10.6	62.8	64.6	-1.8

【経年比較】

■札幌市の通過率と設定通過率との差異

- ・教科全体を見ると、平成 26 年度と比べ、6.4 ポイントの上昇が見られる。
- ・観点別に見ると、平成 26 年度では、「社会的な思考・判断・表現」「社会的事象についての知識・理解」において設定通過率を下回っていたが、平成 29 年度では、いずれの観点も設定通過率とほぼ同程度となっている。
- ・平成 26 年度と比べ「社会的な思考・判断・表現」は 6.0 ポイント、「観察・資料活用の技能」は 2.0 ポイント、「社会的事象についての知識・理解」は 8.8 ポイントの上昇が見られる。

■設問別通過率

設問番号			設問内容	基礎 応用	出題 形式	札 幌 市 の 通 過 率	設 定 通 過 率	観点			領域	単元						
大問	小問	社会的 な思考・ 判断・表現						観 察・ 資 料 活 用 の 技 能	知 識・ 理 解	社会的 事象に ついての	地 理 的 内 容	土 と 世 界 の 国 々	わ た し た ち の 国	日 本 の 国 土 の よ う す （ 地 形 ）	日 本 の 国 土 の よ う す （ 気 候 ）	米 づ く り と 日 本 の 農 業	日 本 の 水 産 業	食 料 生 産 と わ た し ち
1	1	ア	日本の西にある大陸の名称を答える	基礎	短答式	72.0	83.9			●	■	◆						
1	1	イ	地図中に示した国の名称を選択する	基礎	選択式	69.9	69.9			●	■	◆						
1	1	ウ	国旗が示す国を地図中から選択する	基礎	選択式	81.2	85.9		●			◆						
1	2	ア	日本の北に位置する海を選択する	基礎	選択式	67.0	54.9			●	■	◆						
1	2	イ	北方領土にあてはまる島を選択する	基礎	選択式	85.4	80.0			●	■	◆						
1	3		盆地の説明を選択する	基礎	選択式	56.0	59.5			●	■		◆					
1	4		梅雨の時期を選択する	基礎	選択式	65.5	72.6			●	■		◆					
1	5		季節風の名称を答える	基礎	短答式	63.4	70.4			●	■		◆					
2	1	ア	米づくりカレンダーから田おこしの時期を選択する	基礎	選択式	83.7	84.6		●		■			◆				
2	1	イ	カンントリーエレベーターの役割を選択する	基礎	選択式	72.1	64.5			●	■			◆				
2	2		品種改良の名称を答える	基礎	短答式	39.8	50.7			●	■			◆				
2	3		米の収穫量上位で耕地の田の割合の高い県を読み取る	基礎	選択式	52.7	50.2		●		■			◆				
2	4		農地の圃場整備の内容を読み取る	基礎	選択式	78.1	81.0	●			■			◆				
2	5		農業機械の共同購入から農業の課題を説明する	応用	記述式	11.9	11.3	●			■							◆
3	1		漁種別生産量を読み取る	基礎	選択式	61.1	57.4		●		■				◆			
3	2		海流と県別の魚種別漁獲量の関係を読み取る	応用	選択式	38.3	41.6		●		■				◆			
3	3		水産物の輸入先を読み取る	基礎	選択式	60.3	59.2		●		■				◆			
3	4		年齢別漁業従事者数の変化からわかるテーマを考察する	基礎	選択式	84.2	84.1	●			■				◆			
3	5		漁業で働く人が決めているルールの目的を読み取る	応用	選択式	71.6	69.0	●			■				◆			
4	1	ア	食料自給率の内容を選択する	基礎	選択式	37.0	39.6			●	■						◆	
4	1	イ	小麦・くだもの自給率と輸入先を読み取る	基礎	選択式	78.5	76.8		●		■						◆	
4	2		2国の耕地面積と肥料消費量を読み取る	基礎	選択式	59.1	58.0		●		■						◆	
4	3		日本の食料生産の課題を選択する	基礎	選択式	62.4	64.9			●	■						◆	
4	4		トレーサビリティから食の安全について考察する	応用	選択式	74.1	65.4	●			■							◆
5	1		地産地消をアピールする資料を選択する	応用	選択式	63.8	61.8	●			■							◆
5	2		ピーマン出荷量と価格の関係を説明する	応用	記述式	52.6	55.7	●			■							◆

□ わたしたちの国土と世界の国々に関する設問、日本の国土のようす（地形・気候）に関する設問

【大問1】 大問1は、上記の単元の内容について、小問集合の形式で問う設問となっており、8問の小問により構成されている。

(1) ア「日本の西にある大陸の名称」の通過率は72.0%で、設定通過率を11.9ポイント下回っている。

(1) イ「地図中に示した国の名称」の通過率は69.9%で、設定通過率とほぼ同程度となっている。

- (1) ウ「国旗と地図」の通過率は81.2%で、設定通過率を4.7ポイント下回っている。
- (2) ア「日本の北に位置する海」の通過率は67.0%で、設定通過率を12.1ポイント上回っている。
- (2) イ「北方領土にふくまれる島」の通過率は85.4%で、設定通過率を5.4ポイント上回っている。
- (3) 「盆地の説明」の通過率は56.0%で、設定通過率を3.5ポイント下回っている。
- (4) 「梅雨の時期」の通過率は65.5%で、設定通過率を7.1ポイント下回っている。
- (5) 「季節風の名称」の通過率は63.4%で、設定通過率を7.0ポイント下回っている。

日本と他の国の位置関係の把握及び日本の地形や気候に関する設問において、北海道の近海や北方領土に関する設問の通過率が、設定通過率を大きく上回る結果となっているものの、北海道と関係があまり深くない社会的事象に関する基礎的な知識の定着について課題がある。

日常の授業の中で、積極的に地図帳や地球儀、写真や映像資料を活用するなど、日本の国土の様子について、イメージと関連付けながら体験的に捉えていくことが必要である。

□ 米づくりと日本の農業に関する設問、活用に関する設問

【大問2】 大問2は、米づくりと日本の農業について、カレンダーや資料を読み取りながら解く、「社会的な思考・判断・表現」の観点の内容も含めた設問となっており、6問の小問により構成されている。

- (1) ア「田おこしの時期」の通過率は83.7%で、設定通過率とほぼ同程度であるがやや下回っている。
- (1) イ「カントリーエレベーターの役割」の通過率は72.1%で、設定通過率を7.6ポイント上回っている。
- (2) 「品種改良」の通過率は39.8%で、設定通過率を10.9ポイント下回っている。
- (3) 「米の収穫量上位で耕地の田の割合の高い県」の通過率は52.7%で、設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回っている。
- (4) 「農地の圃場整備の内容」の通過率は78.1%で、設定通過率とほぼ同程度であるがやや下回っている。
- (5) 「農業機械を共同購入する理由の説明」の通過率は11.9%で、設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回っている。

米づくりと日本の農業の理解に関する設問において、資料を読み取って当てはまるものを選択する設問の通過率が、設定通過率とほぼ同程度あるいは上回る結果となっているが、「品種改良」に関する設問において、設定通過率を下回る結果となっている。

資料から必要な情報を読み取る力は、一定程度、定着していると考えられるが、用語を覚えるだけでなく、その意味を理解したり、読み取った事柄について他者に説明したりすることができるように指導していくことが必要である。

□ 日本の水産業に関する設問

【大問3】 大問3は、日本の水産業について、グラフを読み取りながら解く、「観察・資料活用の技能」の観点を中心とした設問となっており、5問の小問により構成されている。

- (1) 「漁種別生産量」の通過率は61.1%で、設定通過率を3.7ポイント上回っている。
- (2) 「海流と県別の魚種別漁獲量の関係」の通過率は38.3%で、設定通過率を3.3ポイント下回っている。

- (3) 「水産物の輸入先」の通過率は 60.3%で、設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回っている。
- (4) 「年齢別漁業従事者数の変化からわかるテーマの考察」の通過率は 84.2%で、設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回っている。
- (5) 「漁業で働く人が決めているルールの目的」の通過率は 71.6%で、設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回っている。

日本の水産業に関する設問において、小問5問のうち4問の通過率が設定通過率を上回るかほぼ同程度であり、資料を読み取る基本的な技能については、一定程度、定着していると考えられる。

一方で、「海流と県別の魚種別漁獲量の関係」を読み取る設問の通過率が設定通過率を下回っていることから、複合的な要素を基に考察するなどして問題解決を図る学習の充実が求められる。

□ 食料生産とわたしたちに関する設問、活用に関する設問

【大問4】 大問4は、食料生産とわたしたちについて、様々な資料を読み取ったり、活用したりする設問となっており、5問の小問により構成されている。

- (1) ア「食料自給率の説明」の通過率は 37.0%で、設定通過率とほぼ同程度であるがやや下回っている。
- (1) イ「小麦・くだものの自給率と輸入先」の通過率は 78.5%で、設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回っている。
- (2) 「2国の耕地面積と肥料消費量の比較」の通過率は 59.1%で、設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回っている。
- (3) 「日本の食料生産の課題」の通過率は 62.4%で、設定通過率とほぼ同程度であるがやや下回っている。
- (4) 「トレーサビリティと食の安全」の通過率は 74.1%で、設定通過率を 8.7 ポイント上回っている。

食料生産に関する設問において、資料を読み取って当てはまるものを選択する設問の通過率は、設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回っていることから、資料から必要な情報を読み取る力は、一定程度、定着していると考えられる。一方、「社会的事象についての知識・理解」の設問では通過率が設定通過率とほぼ同程度であるがやや下回っている。

基本的な知識に関連する事柄と結び付けて捉え、活用できるような学習展開の工夫が必要である。

□ 活用に関する設問

【大問5】 大問5は、給食をテーマに、資料を読み取って、思考・判断・表現する設問となっており、2問の小問により構成されている。

- (1) 「地産地消を説明する資料」の通過率は 63.8%で、設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回っている。
- (2) 「ピーマン出荷量と価格の関係の説明」の通過率は 52.6%で、設定通過率を 3.1 ポイント下回っている。

活用に関する設問において、選択式の設問では、通過率が設定通過率とほぼ同程度であるが、記述式では下回っている。

資料をもとに説明したり、根拠や理由などを明確にして議論したりするなど、考えたことを伝え合う活動の充実が求められる。

■社会科の学習に関する意識結果

質問番号	質問内容	年度	肯定群 回答割合 (%)	とても あてはまる	やや あてはまる	あまり あてはまらない	まったく あてはまらない
1	日本のいろいろな町や場所のことをもっと知りたいと思う。	平成20年度	72.7	26.5	46.1	22.5	4.7
		平成23年度	77.5	30.5	46.2	17.2	5.1
		平成26年度	76.3	31.4	44.5	17.9	5.7
		平成29年度	79.9	31.7	47.6	15.7	4.3
2	社会の学習で疑問をもったことについて、自分から調べるようにしている。	平成20年度	44.8	9.7	35.0	45.2	9.9
		平成23年度	51.4	11.5	39.4	39.0	9.1
		平成26年度	57.2	13.0	43.9	34.4	8.1
		平成29年度	58.0	14.5	43.2	33.4	8.4
3	地域や国土のよさを大切にしようと思う。	平成20年度	81.3	41.1	40.0	15.4	3.3
		平成23年度	85.6	45.0	39.9	11.4	2.9
		平成26年度	86.3	47.1	38.7	10.6	3.0
		平成29年度	88.7	52.8	35.4	9.2	2.0
4	社会の学習で新しく地名が出てきたら、地図で確認するようにしている。	平成20年度	56.0	22.8	33.1	31.4	12.5
		平成23年度	58.8	22.2	36.1	30.8	10.0
		平成26年度	58.0	20.5	37.2	30.7	11.0
		平成29年度	56.7	19.8	36.6	31.6	11.4
5	図書館やコンピュータなどを利用して、資料を集め活用している。	平成20年度	56.0	27.1	28.7	30.3	13.7
		平成23年度	56.1	23.0	32.6	29.9	13.6
		平成26年度	57.0	26.7	30.0	28.9	13.8
		平成29年度	50.3	20.3	29.7	32.1	17.4
6	ニュースや新聞に出てくる出来事に興味をもっている。	平成20年度	76.7	43.9	32.7	14.7	8.6
		平成23年度	81.0	44.8	35.4	12.7	6.1
		平成26年度	79.8	46.0	33.2	13.9	6.2
		平成29年度	82.5	48.7	33.4	12.1	5.3
7	地域や国土の自然を守るために、自分にできることを見付けて実行している。	平成20年度	61.5	24.0	37.4	28.6	9.8
		平成23年度	63.5	20.0	42.8	26.1	10.0
		平成26年度	54.3	16.4	37.5	33.5	11.9
		平成29年度	56.8	18.3	38.1	32.4	10.5

■社会科の学力との関係が大きい項目

質問番号	質問内容	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)					学力層別 肯定群回答割合(%)				
			よく	やや	あまり	まったく	その他 無回答	A層	B層	C層	D層	A-D層 の差
2	社会の学習で疑問をもったことについて、自分から調べるようにしている。	58.0	14.5	43.2	33.4	8.4	0.6	68.0	64.9	55.2	43.7	24.3
4	社会の学習で新しく地名が出てきたら、地図で確認するようにしている。	56.7	19.8	36.6	31.6	11.4	0.6	66.0	56.4	58.3	46.1	19.9

※「学力層別 肯定群回答割合」は、正答数の大きい順から 25%刻みで分けられた4つの層（上位からA層、B層、C層、D層の順）において、肯定的に回答した児童の割合

＜全体について＞

- 平成 26 年度に比べて、概ね肯定的な回答をした児童の割合が増加しているが、「社会の学習で新しく地名が出てきたら、地図で確認するようにしている」「図書館やコンピュータなどを利用して、資料を集め活用している」については、肯定的な回答をした児童の割合が減少している。
- 成績上位層（A層）と下位層（D層）との差が大きかった質問は、「社会の学習で疑問をもったことについて、自分から調べるようにしている」「社会の学習で新しく地名が出てきたら、地図で確認するようにしている」であった。主体的に調べる態度があることが、社会科の学力と関わりが大きいと考えられる。

＜設問別分析＞

- 「日本のいろいろな町や場所のことをもっと知りたいと思う」という質問では、肯定的な回答が79.9%であった。社会的事象について児童が身近に感じることができるよう資料提示の工夫や、調べたことをまとめたり、議論したりするなど、表現する学習活動の工夫が一層求められる。
- 「社会の学習で疑問をもったことについて、自分から調べるようにしている」という質問では、肯定的な回答が、58.0%であった。また、A－D層の差が24.3ポイントと最も大きかった。今後も、主体的に調べる態度を育成するため、児童が自ら課題を発見し、その解決に向けて取り組めるような授業展開を工夫するとともに、様々な調べ方を身に付けられるように指導していくことが求められる。
- 「地域や国土のよさを大切にしようと思う」という質問では、肯定的な回答が、88.7%であった。引き続き、様々な地域の特色についての理解を深める指導を行うとともに、学校教育の重点に位置付けられている「ふるさと札幌」についての学びを深める指導を充実させることが求められる。
- 「社会の学習で新しく地名が出てきたら、地図で確認するようにしている」という質問では肯定的な回答が、56.7%であった。また、A－D層の差が19.9ポイントと大きかった。日常の授業において、地図帳や地球儀、各種の資料を活用する習慣の定着を図るため、児童が自ら地図帳を開いて確認したくなるような発問や学習展開の工夫が求められる。
- 「図書館やコンピュータなどを利用して、資料を集め活用している」という質問では、肯定的な回答が、50.3%であった。主体的に調べる態度を育成するとともに、統計などの資料やコンピュータなど様々な手段を用いて情報を集めたり活用したりする力も育てていくことが求められる。
- 「ニュースや新聞に出てくる出来事に興味をもっている」という質問では、肯定的な回答が、82.5%であった。今後も、世の中の出来事についての興味・関心を引き出すため、様々なニュースや新聞記事と、社会科の学習とを関連させた指導が求められる。
- 「地域や国土の自然を守るために、自分にできることを見付けて実行している」という質問では、肯定的な回答が、56.8%であり、前回より上回る結果となった。引き続き、自分たちも社会を構成する一員であることや、よりよい社会づくりに主体的に参画しようとする意識を育てていくことが求められる。

IV 教科別分析概要及び 課題と改善の方向

1 小学校第5学年

(3) 学習についての アンケート(小学校)

(3) 学習についてのアンケート（小学校）

①社会科の学力と関係が大きい項目の肯定群回答割合（％）

質問 番号	カテゴリー 上段：視点 中段：要素 下段：小要素	質問内容	札幌市	札幌市学力層別				
				A層	B層	C層	D層	A－D層 の差
86	学習方略 算数	算数の授業で、文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明したことがある。	66.3	81.5	71.8	62.7	49.4	32.1
46	社会的実践力 問題解決力	調べたことを、パソコンを使ってまとめたり、発表したりすることができる。	60.2	76.4	63.7	54.6	45.9	30.5
45	社会的実践力 問題解決力	自分の意見や考えを相手に分かりやすく伝えることができる。	56.5	70.2	60.1	53.5	42.2	28.0
31	学びの基礎力 自ら学ぶ力 学習定着のための方略	授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。	69.6	83.8	73.7	64.2	56.8	27.0
43	社会的実践力 問題解決力	調べて分かったことをもとに、考えをまとめることができる。	68.8	81.9	77.2	60.6	55.6	26.3
87	学習方略 算数	算数の宿題で、文章題を作ったことがある。	57.1	69.9	60.2	54.6	43.6	26.3
52	社会的実践力 豊かな心	自分と違う意見も尊重している。	73.7	84.6	76.1	75.4	58.7	25.9
88	学習方略 算数	算数の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	71.7	83.8	77.2	67.7	58.3	25.5
3	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	本や新聞を読んでいる。	81.2	93.1	82.6	80.4	68.7	24.4
126	追加質問	意見の違う人とも、よく話し合おうとしている。	75.1	87.3	78.8	71.2	63.3	24.0

②カテゴリーごとの平均スコア

※平均スコアとは、各質問の回答を全員が「とても」と回答した場合に100、全員が「まったく」と回答した場合に0となるようにカテゴリーごとに集計した数値

カテゴリー	札幌市	札幌市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A－D層の差
学びの基礎力	67.8	71.8	69.4	66.8	63.4	8.4
社会的実践力	66.1	73.0	68.8	63.3	59.3	13.7
学級力	69.3	69.5	70.2	68.9	68.5	1.0

※本調査では、以下のような意味で質問項目进行分类している。

- ・「学びの基礎力」…豊かな基礎体験、学びに向かう力など
- ・「社会的実践力」…問題解決力、自己成長力など
- ・「学級力」……………対話力、支え合う力など
- ・「家庭学習力」……家庭学習の環境や習慣について

○社会科の学力との関係が大きい質問項目について

- ・「算数の授業で、文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明したことがある」、「調べたことを、パソコンを使ってまとめたり、発表したりすることができる」、「自分の意見や考えを相手に分かりやすく伝えることができる」の質問に肯定的に回答していることと、社会科の学力との関係が大きかった。
- ・カテゴリー別に見ると、「社会的実践力」において、社会科の学力との関係が大きかった。主体的に問題解決にあたる力を身に付けるには、個人で調べたり考えをまとめたりする活動だけでなく、「分かりやすく伝える」、「他者の意見も受け入れる」など、他者との関係における「社会的実践力」を育む指導を教科横断的に行っていくことが求められる。

③学習についてのアンケート（小学校）結果一覧

質問 番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	札幌市	札幌市学力層別					
				A層	B層	C層	D層	AーD層 の差	差の大きい 質問の順位
1	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	友だちと外で遊んでいる。	78.0	73.7	79.2	83.8	75.3	-1.6	88
2	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	ゲーム機やケータイでゲームをしている。	87.3	81.5	82.2	93.8	91.5	-10.0	92
3	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	本や新聞を読んでいる。	81.2	93.1	82.6	80.4	68.7	24.4	9
4	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	パソコンやインターネットを使う。	76.6	79.5	77.2	81.5	68.0	11.5	43
5	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	放課後や土曜日などに、学校の活動や集まりがあれば、参加している。	45.0	48.3	45.9	42.3	43.4	4.9	72
6	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	ゲーム機やケータイでゲームをするときは、家の人と時間についてルールを決めている。	67.7	75.3	72.6	65.0	57.9	17.4	26
7	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	ケータイで電話やメールをするときは、家の人と時間を決めている。	71.6	78.8	75.7	66.9	64.9	13.9	37
8	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	家の人は自分のことを気にかけてくれていると思う	91.3	93.8	93.8	92.3	85.3	8.5	60
9	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	今まで教えてもらった学校の先生は、自分のことを認めてくれていたと思う。	79.8	84.2	86.1	76.2	73.0	11.2	44
10	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	勉強やスポーツのことで、家の人が応援してくれる。	85.1	87.6	87.6	83.5	81.5	6.1	70
11	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	将来の夢やこれからの進路について家の人と話をする。	58.1	63.3	59.1	56.2	53.7	9.6	54
12	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	新聞に書かれていることについて家の人と話をする。	34.8	41.7	35.1	31.2	31.3	10.4	49
13	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基本的生活習慣	朝食は毎日食べている。	92.5	96.5	96.9	91.2	85.3	11.2	44
14	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基本的生活習慣	朝、起こされなくても自分で起きている。	66.5	68.7	65.6	69.2	62.5	6.2	68
15	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基本的生活習慣	夜は決まった時間に寝ている。	52.5	55.2	55.6	53.1	45.9	9.3	55
16	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基本的生活習慣	家の人からたよりにされて、何かの役割を任されている。	68.5	70.7	72.6	68.5	62.2	8.5	60
17	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基本的生活習慣	食器の後片付けなど、自分のことは自分でしている。	73.1	74.9	73.0	75.8	68.7	6.2	68
18	学びの基礎力 学びに向かう力 感じ取る力	普段から「不思議だな」「なぜだろう」と感じることもある。	77.2	84.6	80.7	73.8	69.9	14.7	35
19	学びの基礎力 学びに向かう力 感じ取る力	本やドラマなどを見て、人の生き方に感動することがある。	68.2	73.7	72.6	62.7	63.7	10.0	52
20	学びの基礎力 学びに向かう力 感じ取る力	勉強していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。	82.4	88.0	87.3	81.2	73.0	15.0	34
21	学びの基礎力 学びに向かう力 学習動機	勉強して身につけた知識は、いずれ仕事や生活の中で役に立つと思う。	87.7	91.9	89.2	86.9	82.6	9.3	55
22	学びの基礎力 学びに向かう力 学習動機	勉強して、分かったりできたりすることが増えるのは、うれしい。	90.1	93.1	91.9	88.1	87.3	5.8	71
23	学びの基礎力 学びに向かう力 学習動機	学校に行くのが楽しい。	84.5	86.5	88.4	85.4	77.6	8.9	58
24	学びの基礎力 学びに向かう力 自己責任	同じ間違いをしないように気を付けている。	88.1	92.7	89.6	86.5	83.8	8.9	58
25	学びの基礎力 学びに向かう力 自己有能感	努力をすれば、自分も大抵のことはできと思う。	86.9	87.3	88.4	88.1	83.8	3.5	76

質問 番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	札幌市	札幌市学力層別					
				A層	B層	C層	D層	AーD層 の差	差の大きい 質問の順位
26	学びの基礎力	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	92.1	92.3	93.1	92.3	90.7	1.6	83
	学びに向かう力 達成感								
27	学びの基礎力	黒板に書かれていないことでも、大事なことはノートに書きとめている。	67.3	74.9	69.9	61.9	62.5	12.4	39
	自ら学ぶ力 学習スキル								
28	学びの基礎力	テストで間違えた問題は、もう一度やり直している。	64.2	74.9	63.7	61.9	56.4	18.5	21
	自ら学ぶ力 学習スキル								
29	学びの基礎力	授業で学んだことを自分なりにノートにまとめ直している。	54.9	60.6	56.0	52.7	50.2	10.4	49
	自ら学ぶ力 学習スキル								
30	学びの基礎力	新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。	57.2	67.2	60.6	51.2	49.8	17.4	26
	自ら学ぶ力 学習定着のための方略								
31	学びの基礎力	授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。	69.6	83.8	73.7	64.2	56.8	27.0	4
	自ら学ぶ力 学習定着のための方略								
32	学びの基礎力	授業で習ったことを普段の生活と結び付けて考えている。	60.8	73.4	59.1	58.5	52.5	20.9	15
	自ら学ぶ力 学習定着のための方略								
33	学びの基礎力	習った内容の中で、何がまだ理解できていないか、分かっている。	81.9	86.9	82.6	82.3	75.7	11.2	44
	自ら学ぶ力 学習計画力								
34	学びの基礎力	その日のめあてを決めて、授業や家で勉強に取り組んでいる。	50.3	57.1	46.7	47.9	49.4	7.7	65
	自ら学ぶ力 学習計画力								
35	学びの基礎力	自分で学習の計画を立てている。	59.7	67.6	64.1	55.8	51.4	16.2	29
	自ら学ぶ力 学習計画力								
36	学びの基礎力	普段からこつこつ勉強している。	61.5	74.1	66.0	55.4	50.6	23.5	10
	学びを律する力 学習継続力								
37	学びの基礎力	分からないことはそのままにせず、分かるまで努力している。	67.7	76.4	67.2	66.5	60.6	15.8	32
	学びを律する力 学習継続力								
38	学びの基礎力	勉強を始めたなら、他のことに気をとられないで、集中している。	60.8	66.0	62.5	56.5	58.3	7.7	65
	学びを律する力 学習のけじめ								
39	学びの基礎力	勘違いや思いこみがないか、しっかり見直しをしている。	69.6	76.8	71.4	67.7	62.5	14.3	36
	学びを律する力 学習のけじめ								
40	学びの基礎力	正しい姿勢で勉強している。	57.9	63.7	61.8	55.0	51.0	12.7	38
	学びを律する力 学習環境の整備								
41	学びの基礎力	必要なものをきちんとそろえてから、学習を始めている。	85.2	87.6	85.7	88.1	79.5	8.1	64
	学びを律する力 学習環境の整備								
42	学びの基礎力	授業を集中して受けている。	83.7	89.2	88.8	79.6	77.2	12.0	40
	学びを律する力 授業を受ける姿勢								
43	社会的実践力	調べて分かったことをもとに、考えをまとめることができる。	68.8	81.9	77.2	60.6	55.6	26.3	5
	問題解決力								
44	社会的実践力	筋道を立てて、ものごとを考えることができる。	67.1	78.3	70.9	62.1	57.0	21.3	13
	問題解決力								
45	社会的実践力	自分の意見や考えを相手に分かりやすく伝えることができる。	56.5	70.2	60.1	53.5	42.2	28.0	3
	問題解決力								
46	社会的実践力	調べたことを、パソコンを使ってまとめたり、発表したりすることができる。	60.2	76.4	63.7	54.6	45.9	30.5	2
	問題解決力								
47	社会的実践力	テレビのニュースや新聞などで、最近の社会のできごとをよく知っている。	75.8	85.3	79.5	72.7	65.6	19.7	18
	社会参画力								
48	社会的実践力	社会で問題になっていることについて、どうすればよいか、考えたことがある。	64.4	77.2	63.3	61.9	55.2	22.0	11
	社会参画力								
49	社会的実践力	自分がやらなければならないことは、責任をもってやりぬくことができる。	81.8	85.3	86.5	80.4	74.9	10.4	49
	豊かな心								
50	社会的実践力	難しいことでも、失敗をおそれないで、取り組んでいる。	71.4	74.9	73.7	71.2	65.6	9.3	55
	豊かな心								

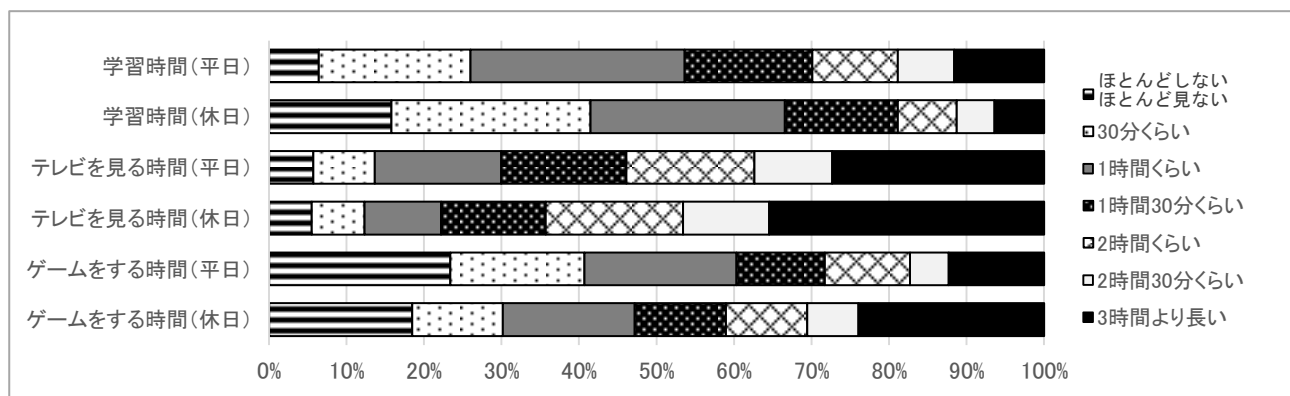
質問 番号	カテゴリー 上段：視点 中段：要素 下段：小要素	質問内容	札幌市	札幌市学力層別					
				A層	B層	C層	D層	A－D層 の差	差の大きい 質問の順位
51	社会的実践力 豊かな心	いつも新しいアイデアを考えたり、工夫したりしている。	68.9	78.0	73.0	67.7	56.8	21.2	14
52	社会的実践力 豊かな心	自分と違う意見も尊重している。	73.7	84.6	76.1	75.4	58.7	25.9	7
53	社会的実践力 自己成長力	自分には、先生や友達からほめられるような得意なことがある。	70.5	73.4	70.3	67.7	70.7	2.7	79
54	社会的実践力 自己成長力	自分の力をできるだけ伸ばしたいと思う。	91.5	93.4	94.6	89.2	88.8	4.6	73
97	学級力 やりとげる力	みんなで決めた目標やめあてに力を合わせて取り組んでいる学級です。	84.8	85.7	88.4	82.3	82.6	3.1	78
98	学級力 やりとげる力	係や当番の活動に責任をもって取り組む学級です。	83.7	83.0	88.8	81.5	81.5	1.5	84
99	学級力 やりとげる力	自分たちの学習や生活をよくするための話合いや活動をしている学級です。	75.6	78.0	77.6	72.3	74.5	3.5	76
100	学級力 対話力	発言している人の話を最後までしっかりと聞いている学級です。	79.6	78.4	81.5	78.5	79.9	-1.5	87
101	学級力 対話力	友達の話に賛成・反対・つけたしと、つなげるように発言している学級です。	85.8	88.8	89.2	85.0	80.3	8.5	60
102	学級力 対話力	話合いのとき、考えや意見を進んで出合う学級です。	84.1	84.9	85.7	83.5	82.2	2.7	79
103	学級力 支え合う力	勉強・運動・そうじ・給食などで、教え合いや助け合いをしている学級です。	84.7	82.6	86.1	85.8	84.2	-1.6	88
104	学級力 支え合う力	素直に「ごめんね」と言って、仲直りができる学級です。	78.4	76.8	79.2	76.9	80.6	-3.8	90
105	学級力 支え合う力	「ありがとう」を伝え合っている学級です。	86.7	85.3	86.1	86.2	89.2	-3.9	91
106	学級力 共生力	友達の心を傷付けることを言ったり、からかったりしない学級です。	56.3	57.1	58.3	51.9	57.9	-0.8	86
107	学級力 共生力	誰とでも遊んだり、グループになったりすることができる学級です。	80.7	82.6	78.4	80.4	81.5	1.1	85
108	学級力 共生力	友達のよいところやがんばっているところを伝え合っている学級です。	75.1	77.2	76.8	76.5	69.9	7.3	67
109	学級力 規律力	授業中にむだなおしゃべりをしない学級です。	42.2	44.8	42.9	40.4	40.9	3.9	75
110	学級力 規律力	廊下を走らない、あいさつをするなど、学校のきまりを守っている学級です。	68.7	76.8	66.4	65.8	65.6	11.2	44
111	学級力 規律力	校外でも人の迷惑にならないように考えて行動できる学級です。	79.0	80.7	81.9	76.9	76.4	4.3	74
112	家庭学習力	家で学習していて、分からないときは教えてくれる人がいる。	84.5	85.3	85.3	84.9	82.6	2.7	79
113	家庭学習力	家で学習するときは、苦手な教科もしっかりと学習している。	75.1	81.9	73.7	74.8	69.9	12.0	40
114	家庭学習力	学校の先生が出した宿題をきちんとやりとげている。	88.4	94.6	91.5	89.1	78.4	16.2	29
115	家庭学習力	次の日の授業に必要な教科書やノートなどは、前の日に準備している。	84.5	84.6	84.6	87.2	81.9	2.7	79
116	家庭学習力	自分の得意な分野を更に伸ばすために、家で自分なりに学んでいることがある。	75.1	79.9	74.9	76.7	68.7	11.2	44
117	家庭学習力	テレビやラジオをつけないで集中して学習している。	66.8	74.5	68.2	61.6	62.9	11.6	42

質問 番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	札幌市	札幌市学力層別					
				A層	B層	C層	D層	AーD層 の差	差の大きい 質問の順位
118	家庭学習力	授業で習ったことは、その日のうちに復習している。	46.3	52.9	41.9	45.7	44.7	8.2	63
81	学習方略 国語	国語の授業で、分からない言葉があれば、国語辞典で調べるようにしている。	61.6	70.7	62.9	59.5	53.3	17.4	26
82	学習方略 国語	国語の授業で、文章の書き方のよい例を参考にして書くことがある。	77.0	81.1	82.2	80.0	64.9	16.2	29
83	学習方略 国語	国語の授業で、物語を作ったことがある。	69.7	78.0	74.9	66.5	59.5	18.5	21
84	学習方略 国語	国語の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	76.9	84.6	81.1	76.5	65.3	19.3	20
85	学習方略 算数	算数の授業で、グループで協力して問題を解いて発表することがある。	66.7	74.9	71.4	64.2	56.4	18.5	21
86	学習方略 算数	算数の授業で、文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明したことがある。	66.3	81.5	71.8	62.7	49.4	32.1	1
87	学習方略 算数	算数の宿題で、文章題を作ったことがある。	57.1	69.9	60.2	54.6	43.6	26.3	5
88	学習方略 算数	算数の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	71.7	83.8	77.2	67.7	58.3	25.5	8
89	学習方略 社会	社会の授業で、テレビや電子黒板などを使って、写真や地図・グラフなどを見ることがある。	68.6	77.2	67.6	72.7	56.8	20.4	17
90	学習方略 社会	社会の授業で、調べたことを、新聞形式でまとめたことがある。	71.1	80.2	74.1	71.5	58.7	21.5	12
91	学習方略 社会	社会の授業で、今、世の中で起きていることについて、資料をもとにして考えることがある。	60.1	71.4	62.5	55.8	50.6	20.8	16
92	学習方略 社会	社会の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	67.4	75.3	70.3	68.5	55.6	19.7	18
93	学習方略 理科	理科の授業で、実験や調査に取り組む前に、仮説を立てたり結果を予想したりしている。	89.2	95.8	91.9	88.5	80.7	15.1	33
94	学習方略 理科	理科の授業で、テレビや電子黒板などを使って、実験や観察のようすや自然のいろいろなようすなどについて、写真や映像などを見ることがある。	76.5	83.4	81.1	76.5	64.9	18.5	21
95	学習方略 理科	理科の授業で、実験や調査が終わったあとに、気付いたことや新しい疑問などについて、話合ったりまとめたりしている。	72.7	79.5	77.6	72.3	61.4	18.1	25
96	学習方略 理科	理科の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	75.5	80.7	75.7	75.0	70.7	10.0	52
55	教科について 教科の好き嫌い	国語	68.3	75.7	73.7	65.4	58.3	17.4	
56	教科について 教科の好き嫌い	社会	58.4	74.9	57.1	55.8	45.9	29.0	
57	教科について 教科の好き嫌い	算数	64.9	78.8	68.7	62.3	49.8	29.0	
58	教科について 教科の好き嫌い	理科	86.9	87.6	88.8	86.2	84.9	2.7	
59	教科について 教科の好き嫌い	音楽	78.5	79.5	79.9	80.8	73.7	5.8	
60	教科について 教科の好き嫌い	図画工作	81.7	79.2	80.7	83.8	83.0	-3.8	
61	教科について 教科の好き嫌い	体育	87.8	86.5	88.0	89.6	86.9	-0.4	
62	教科について 教科の好き嫌い	家庭	85.6	87.6	85.7	86.9	82.2	5.4	

質問 番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	札幌市	札幌市学力層別					
				A層	B層	C層	D層	A—D層 の差	差の大きい 質問の順位
63	教科について	総合的な学習の時間	81.1	83.0	79.9	81.2	80.3	2.7	
	教科の好き嫌い								
64	教科について	道徳	72.6	69.9	73.0	76.2	71.4	-1.5	
	教科の好き嫌い								
65	教科について	学級活動	85.2	87.3	85.7	87.3	80.7	6.6	
	教科の好き嫌い								
66	教科について	国語	89.4	95.8	93.4	89.6	78.8	17.0	
	教科の理解度								
67	教科について	社会	78.4	91.1	86.1	76.2	60.2	30.9	
	教科の理解度								
68	教科について	算数	77.5	93.1	84.9	72.3	59.7	33.4	
	教科の理解度								
69	教科について	理科	92.0	95.8	92.7	91.5	88.0	7.8	
	教科の理解度								
70	教科について	音楽	86.9	87.6	88.0	87.3	84.5	3.1	
	教科の理解度								
71	教科について	図画工作	88.1	87.3	88.0	90.4	86.9	0.4	
	教科の理解度								
72	教科について	体育	91.8	91.1	92.7	93.8	89.6	1.5	
	教科の理解度								
73	教科について	家庭	87.4	88.4	91.1	87.3	82.8	5.6	
	教科の理解度								

④学習時間 テレビを見る時間 ゲームをする時間

質問 番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							
			ほとんどしない ほとんど見ない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分 くらい	2時間くらい	2時間30分 くらい	3時間より長い	その他 無回答
77	要素 学習時間	全体	6.4	19.6	27.6	16.5	11.0	7.3	11.6	0.1
	小要素 平日	全体	6.4	19.6	27.6	16.5	11.0	7.3	11.6	0.1
	あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、学校の授業以外で1日にどれくらい勉強していますか。(塾で勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)	A層	3.1	15.8	28.6	15.4	12.7	9.7	14.7	0.0
		B層	4.2	20.5	25.1	20.1	12.7	6.9	10.0	0.4
		C層	6.2	22.3	29.6	17.3	8.1	6.2	10.4	0.0
		D層	12.0	19.7	27.0	13.1	10.4	6.6	11.2	0.0
78	要素 学習時間	全体	15.8	25.7	25.1	14.6	7.6	4.9	6.4	0.0
	小要素 休日	全体	15.8	25.7	25.1	14.6	7.6	4.9	6.4	0.0
	あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらい勉強していますか。(塾で勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)	A層	13.5	21.2	24.7	13.9	10.0	5.8	10.8	0.0
		B層	13.1	27.4	21.2	17.0	10.0	5.4	5.8	0.0
		C層	16.5	27.7	30.4	12.7	5.4	3.8	3.5	0.0
		D層	20.1	26.3	23.9	14.7	5.0	4.6	5.4	0.0
75	要素 テレビを見る時間	全体	5.7	7.9	16.3	16.1	16.5	10.0	27.3	0.2
	小要素 平日	全体	5.7	7.9	16.3	16.1	16.5	10.0	27.3	0.2
	あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。	A層	6.2	6.9	21.2	18.5	18.1	7.3	21.6	0.0
		B層	5.0	7.7	15.4	17.0	16.2	12.7	25.9	0.0
		C層	3.1	8.5	12.7	14.6	18.1	10.4	32.7	0.0
		D層	8.5	8.5	15.8	14.3	13.5	9.7	29.0	0.8
76	要素 テレビを見る時間	全体	5.5	6.8	9.9	13.5	17.7	11.1	35.5	0.0
	小要素 休日	全体	5.5	6.8	9.9	13.5	17.7	11.1	35.5	0.0
	あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。	A層	4.2	7.3	9.3	15.4	21.2	13.5	29.0	0.0
		B層	3.9	3.9	12.0	13.9	22.0	11.6	32.8	0.0
		C層	5.4	5.4	9.6	12.7	13.1	10.4	43.5	0.0
		D層	8.5	10.4	8.9	12.0	14.7	8.9	36.7	0.0
79	要素 ゲームをする時間	全体	23.4	17.3	19.6	11.4	11.0	5.0	12.3	0.0
	小要素 平日	全体	23.4	17.3	19.6	11.4	11.0	5.0	12.3	0.0
	あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいゲームをしますか。	A層	29.3	18.5	22.0	8.5	9.3	4.2	8.1	0.0
		B層	29.0	17.8	16.6	10.0	11.2	5.8	9.7	0.0
		C層	18.1	14.6	21.5	14.6	10.8	5.4	15.0	0.0
		D層	17.4	18.1	18.1	12.4	12.7	4.6	16.6	0.0
80	要素 ゲームをする時間	全体	18.5	11.7	17.0	11.8	10.5	6.6	24.0	0.0
	小要素 休日	全体	18.5	11.7	17.0	11.8	10.5	6.6	24.0	0.0
	あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいゲームをしますか。	A層	24.7	13.1	19.7	9.7	8.1	3.5	21.2	0.0
		B層	20.1	13.1	16.2	10.0	13.9	6.2	20.5	0.0
		C層	12.7	10.4	15.4	15.4	10.0	8.8	27.3	0.0
		D層	16.6	10.0	16.6	12.0	10.0	7.7	27.0	0.0



○学習時間 テレビを見る時間 ゲームをする時間

- ・学校の授業以外に勉強をする時間については、「ほとんどしない」「30分くらい」を合わせると、平日で26.0%、休日で41.5%となっており、学習習慣づくりの大切さなどについて、学校から積極的に、子ども、保護者に対して啓発することが求められる。
- ・平日にテレビを見る時間が、2時間程度より長い児童の割合は、A層で28.9%、D層で38.7%となっている。
- ・平日にゲームをする時間が、1時間程度より長い児童の割合は、A層で30.1%、D層で46.3%となっている。

⑤札幌市全体の共通指標に基づく質問

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)											
					当てはまる	どちらかと言えば、当て はまる	どちらかと言えば、当て はまらない	当てはまらない	その他 無回答							
123	要素	追加質問	全体	73.6	27.2	46.4	20.7	5.7	0.0							
	小要素															
	授業中、自分で疑問やめあてをもって学習に取り 組もうとしている。									A層	81.9	35.1	46.7	13.5	4.6	0.0
										B層	77.6	25.5	52.1	18.9	3.5	0.0
										C層	67.3	25.8	41.5	28.8	3.8	0.0
										D層	67.6	22.4	45.2	21.6	10.8	0.0
		A-D層	14.3	-	-	-	-	-	-							
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)											
					当てはまる	どちらかと言えば、当て はまる	どちらかと言えば、当て はまらない	当てはまらない	その他 無回答							
124	要素	追加質問	全体	68.3	30.0	38.3	24.2	7.5	0.0							
	小要素															
	分からないことは、自分で調べてはつきりさせようと している。									A層	78.0	39.4	38.6	17.4	4.6	0.0
										B層	72.2	29.3	42.9	25.1	2.7	0.0
										C層	66.2	25.4	40.8	24.2	9.6	0.0
										D層	56.8	25.9	30.9	30.1	13.1	0.0
		A-D層	21.2	-	-	-	-	-	-							
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)											
					当てはまる	どちらかと言えば、当て はまる	どちらかと言えば、当て はまらない	当てはまらない	その他 無回答							
125	要素	追加質問	全体	82.3	54.3	28.0	12.5	5.2	0.0							
	小要素															
	勉強していて、おもしろい、楽しいと思うことがよくあ る。									A層	86.9	62.5	24.3	10.4	2.7	0.0
										B層	86.1	58.7	27.4	10.0	3.9	0.0
										C層	81.5	49.2	32.3	15.4	3.1	0.0
										D層	74.5	46.7	27.8	14.3	11.2	0.0
		A-D層	12.4	-	-	-	-	-	-							
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)											
					当てはまる	どちらかと言えば、当て はまる	どちらかと言えば、当て はまらない	当てはまらない	その他 無回答							
126	要素	追加質問	全体	75.1	37.7	37.4	19.7	5.2	0.0							
	小要素															
	意見の違う人とも、よく話し合おうとしている。									A層	87.3	49.0	38.2	10.0	2.7	0.0
										B層	78.8	39.8	39.0	18.5	2.7	0.0
										C層	71.2	32.3	38.8	23.8	5.0	0.0
										D層	63.3	29.7	33.6	26.3	10.4	0.0
		A-D層	24.0	-	-	-	-	-	-							
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)											
					当てはまる	どちらかと言えば、当て はまる	どちらかと言えば、当て はまらない	当てはまらない	その他 無回答							
127	要素	追加質問	全体	75.6	37.3	38.3	19.0	5.4	0.0							
	小要素															
	今の自分にとって、どのように勉強するのがよいか 分かっている。									A層	77.6	39.0	38.6	16.6	5.8	0.0
										B層	79.9	37.5	42.5	17.0	3.1	0.0
										C層	76.2	38.8	37.3	18.1	5.8	0.0
										D層	68.7	34.0	34.7	24.3	6.9	0.0
		A-D層	8.9	-	-	-	-	-	-							
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)											
					とても当てはまる	まあ当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	その他 無回答							
24	要素	学びに向かう力	全体	88.1	49.4	38.8	10.2	1.6	0.0							
	小要素	自己責任														
	同じ間違いをしないように気を付けている。									A層	92.7	53.3	39.4	5.8	1.5	0.0
										B層	89.6	50.6	39.0	9.3	1.2	0.0
										C層	86.5	45.4	41.2	12.3	1.2	0.0
										D層	83.8	48.3	35.5	13.5	2.7	0.0
		A-D層	8.9	-	-	-	-	-	-							
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)											
					とても当てはまる	まあ当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	その他 無回答							
30	要素	自ら学ぶ力	全体	57.2	22.2	35.0	31.4	11.4	0.0							
	小要素	学習定着のための方略														
	新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。									A層	67.2	27.8	39.4	23.9	8.9	0.0
										B層	60.6	22.0	38.6	30.9	8.5	0.0
										C層	51.2	20.8	30.4	37.3	11.5	0.0
										D層	49.8	18.1	31.7	33.6	16.6	0.0
		A-D層	17.4	-	-	-	-	-	-							
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)											
					とても当てはまる	まあ当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	その他 無回答							
35	要素	自ら学ぶ力	全体	59.7	30.6	29.1	25.8	14.5	0.0							
	小要素	学習計画力														
	自分で勉強の計画を立てている。									A層	67.6	39.4	28.2	21.2	11.2	0.0
										B層	64.1	31.3	32.8	26.6	9.3	0.0
										C層	55.8	27.7	28.1	28.1	16.2	0.0
										D層	51.4	23.9	27.4	27.4	21.2	0.0
		A-D層	16.2	-	-	-	-	-	-							

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)											
					とても当てはまる	まあ当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	その他 無回答							
37	要素	学びを律する力	全体	67.7	29.0	38.7	25.7	6.7	0.0							
	小要素	学習継続力														
	分からないことはそのままにせず、分かるまで努力している。									A層	76.4	38.6	37.8	18.9	4.6	0.0
										B層	67.2	30.1	37.1	28.2	4.6	0.0
										C層	66.5	22.3	44.2	28.1	5.4	0.0
										D層	60.6	25.1	35.5	27.4	12.0	0.0
										A-D層	15.8	-	-	-	-	-
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)											
					当てはまる	どちらかと言えば、当てはまる	どちらかと言えば、当てはまらない	当てはまらない	その他 無回答							
128	要素	追加質問	全体	74.4	35.7	38.8	20.9	4.6	0.0							
	小要素															
	意見を書くときには、その理由をはっきりさせて書くようにしている。									A層	84.6	47.9	36.7	12.7	2.7	0.0
										B層	76.1	39.0	37.1	21.2	2.7	0.0
										C層	71.2	26.2	45.0	25.0	3.8	0.0
										D層	66.0	29.7	36.3	24.7	9.3	0.0
										A-D層	18.6	-	-	-	-	-
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)											
					当てはまる	どちらかと言えば、当てはまる	どちらかと言えば、当てはまらない	当てはまらない	その他 無回答							
129	要素	追加質問	全体	72.3	35.3	36.9	20.7	6.9	0.1							
	小要素															
	意見を発言する前に、自分の考えがうまく伝わるように、話の内容や順序を考えている。									A層	82.2	44.0	38.2	13.9	3.9	0.0
										B層	74.8	38.2	36.3	18.9	6.2	0.4
										C層	69.6	31.2	38.5	23.8	6.5	0.0
										D層	62.5	27.8	34.7	26.3	11.2	0.0
										A-D層	19.7	-	-	-	-	-
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)											
					当てはまる	どちらかと言えば、当てはまる	どちらかと言えば、当てはまらない	当てはまらない	その他 無回答							
130	要素	追加質問	全体	56.8	30.9	25.9	26.4	16.8	0.0							
	小要素															
	授業中、自分の意見を進んで発言している。									A層	71.8	45.2	26.6	18.1	10.0	0.0
										B層	61.0	35.1	25.9	24.3	14.7	0.0
										C層	46.2	21.5	24.6	34.2	19.6	0.0
										D層	48.3	21.6	26.6	29.0	22.8	0.0
										A-D層	23.5	-	-	-	-	-
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)											
					当てはまる	どちらかと言えば、当てはまる	どちらかと言えば、当てはまらない	当てはまらない	その他 無回答							
131	要素	追加質問	全体	88.9	52.7	36.3	9.4	1.7	0.0							
	小要素															
	授業中、友達や先生の説明、意見を終わりで聞いている。									A層	89.2	56.4	32.8	9.7	1.2	0.0
										B層	92.3	57.5	34.7	6.6	1.2	0.0
										C層	89.2	51.5	37.7	9.6	1.2	0.0
										D層	84.9	45.2	39.8	11.6	3.5	0.0
										A-D層	4.3	-	-	-	-	-
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)											
					当てはまる	どちらかと言えば、当てはまる	どちらかと言えば、当てはまらない	当てはまらない	その他 無回答							
132	要素	追加質問	全体	84.7	46.6	38.1	11.8	3.6	0.0							
	小要素															
	人の意見を聞いて、それを参考にして自分の考えを見直すことがよくある。									A層	91.5	54.1	37.5	6.2	2.3	0.0
										B層	86.1	49.4	36.7	12.0	1.9	0.0
										C層	84.6	43.1	41.5	13.8	1.5	0.0
										D層	76.4	39.8	36.7	15.1	8.5	0.0
										A-D層	15.1	-	-	-	-	-
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)											
					当てはまる	どちらかと言えば、当てはまる	どちらかと言えば、当てはまらない	当てはまらない	その他 無回答							
133	要素	追加質問	全体	89.1	61.0	27.9	9.4	1.5	0.2							
	小要素															
	習ったことや知っていることを使って、自分で考えることが大事だと思う。									A層	94.6	71.4	23.2	3.9	1.5	0.0
										B層	93.8	64.9	29.0	6.2	0.0	0.0
										C層	87.3	57.3	29.6	12.3	0.4	0.4
										D層	80.6	50.6	29.7	15.1	4.2	0.4
										A-D層	14.0	-	-	-	-	-
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)											
					当てはまる	どちらかと言えば、当てはまる	どちらかと言えば、当てはまらない	当てはまらない	その他 無回答							
134	要素	追加質問	全体	96.1	88.0	8.0	2.3	1.5	0.1							
	小要素															
	学校で好きな授業がある。									A層	96.5	90.3	5.8	1.9	1.5	0.4
										B層	97.3	89.6	7.7	2.3	0.4	0.0
										C層	97.7	87.7	10.0	1.2	1.2	0.0
										D層	93.1	84.6	8.5	3.9	3.1	0.0
										A-D層	3.4	-	-	-	-	-

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合 (%)				
					当てはまる	どちらかと言えば、 当てはまる	どちらかと言えば、 当てはまらない	当てはまらない	その他 無回答
135	要素	追加質問	全体	82.4	45.1	37.2	12.4	5.1	0.1
	小要素								
	授業中に分からないことがあったときに、友達 や先生に聞くようにしている。								
		A層	84.5	52.9	31.3	10.8	4.6	0.4	
		B層	86.5	44.4	42.1	10.8	2.7	0.0	
		C層	83.1	46.2	36.9	13.5	3.5	0.0	
		D層	75.7	37.1	38.6	14.7	9.7	0.0	
		A-D層	8.8	-	-	-	-	-	
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合 (%)				
					当てはまる	どちらかと言えば、 当てはまる	どちらかと言えば、 当てはまらない	当てはまらない	その他 無回答
136	要素	追加質問	全体	71.8	43.3	28.4	17.4	10.8	0.1
	小要素								
	困ったとき、悩みがあるときは、人に相談する ようにしている。								
		A層	70.2	40.2	29.7	17.8	12.0	0.4	
		B層	73.4	44.4	29.0	16.2	10.4	0.0	
		C層	72.7	45.4	27.3	20.0	7.3	0.0	
		D層	71.0	43.2	27.8	15.4	13.5	0.0	
		A-D層	-0.8	-	-	-	-	-	
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合 (%)				
					思う	どちらかと言えば、 そう思う	どちらかと言えば、 そう思わない	思わない	その他 無回答
137	要素	追加質問	全体	76.1	45.1	30.9	14.2	9.7	0.1
	小要素								
	外国の人と交流する機会をもちたいと思う。 (話をしたり、一緒に何かの活動をしたりする など)								
		A層	76.7	45.9	30.5	12.4	10.8	0.4	
		B層	78.4	45.9	32.4	14.7	6.9	0.0	
		C層	71.5	40.8	30.8	16.9	11.5	0.0	
		D層	77.6	47.9	29.7	12.7	9.7	0.0	
		A-D層	-0.9	-	-	-	-	-	
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合 (%)				
					たくさんある	少しある	あまりない	ない	その他 無回答
138	要素	追加質問	全体	87.3	67.5	19.7	8.8	4.0	0.1
	小要素								
	札幌には、好きな場所やものがある。(自然、 建物、イベント、歴史、文化など)								
		A層	87.6	65.6	21.6	8.1	4.2	0.4	
		B層	89.2	66.4	22.8	9.7	1.2	0.0	
		C層	88.5	69.6	18.8	7.3	4.2	0.0	
		D層	83.8	68.3	15.4	10.0	6.2	0.0	
		A-D層	3.8	-	-	-	-	-	

○札幌市全体の共通指標に基づく質問について

- ・ 肯定的な回答の割合が最も高い質問は、「学校で好きな授業がある」(96.1%)となっている。
- ・ 次に肯定的な回答の割合が高い質問は、「習ったことや知っていることを使って、自分で考えることが大事だと思う」(89.1%)、「授業中、友達や先生の説明、意見を終わりまで聞いている」(88.9%)であり、学習に意欲的に取り組み、他者から学ぶことが大切であると認識している児童が多いと考えられる。
- ・ 一方で、「授業中、自分の意見を進んで発言している」については、肯定的な回答の割合が56.8%と最も低い。この項目は、社会科の学力との関係が大きく(A-D層の差が23.5ポイント)、一人一人が自分の意見をもって、積極的に発言できるように指導するとともに、誤答から学ぶことを大切にしたい指導が求められる。
- ・ 次に肯定的な回答の割合が低い質問は「新しく習ったことは、何度もくり返して練習している」(57.2%)である。
- ・ 社会科の学力と最も関係が大きい質問は「意見の違う人とも、よく話し合おうとしている」(A-D層の差が24.0ポイント)となっている。

⑥その他

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合 (%)						
					当てはまる	どちらかと言えば、当てはまる	どちらかと言えば、当てはまらない	当てはまらない	その他 無回答		
119	要素	追加質問	全体	79.7	46.3	33.4	13.7	6.7	0.0		
	小要素		A層	81.1	55.6	25.5	13.5	5.4	0.0		
	自分には、よいところがあると思う。		B層	83.4	46.3	37.1	9.7	6.9	0.0		
			C層	76.9	39.2	37.7	17.3	5.8	0.0		
			D層	77.2	44.0	33.2	14.3	8.5	0.0		
			A-D層	3.9	-	-	-	-	-		
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合 (%)						
					当てはまる	どちらかと言えば、当てはまる	どちらかと言えば、当てはまらない	当てはまらない	その他 無回答		
120	要素	追加質問	全体	84.1	66.7	17.4	9.2	6.8	0.0		
	小要素		A層	83.0	66.8	16.2	8.5	8.5	0.0		
	将来の夢や目標をもっている。		B層	84.2	66.8	17.4	10.8	5.0	0.0		
			C層	85.8	66.9	18.8	8.1	6.2	0.0		
			D層	83.4	66.4	17.0	9.3	7.3	0.0		
			A-D層	-0.4	-	-	-	-	-		
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合 (%)						
					当てはまる	どちらかと言えば、当てはまる	どちらかと言えば、当てはまらない	当てはまらない	その他 無回答		
121	要素	追加質問	全体	81.1	58.3	22.8	12.5	6.4	0.0		
	小要素		A層	90.3	71.0	19.3	6.9	2.7	0.0		
	読書は好きだ。		B層	83.8	64.5	19.3	10.4	5.8	0.0		
			C層	80.0	56.2	23.8	13.8	6.2	0.0		
			D層	70.3	41.7	28.6	18.9	10.8	0.0		
			A-D層	20.0	-	-	-	-	-		
質問 番号	質問内容		母集団	選択肢別回答割合 (%)							
				0冊	1～2冊	3～4冊	5～6冊	7～8冊	9～10冊	11冊以上	その他 無回答
74	要素	読書冊数	全体	7.5	25.1	22.5	16.0	7.7	4.5	16.4	0.3
	小要素		A層	2.3	22.8	20.1	18.1	8.5	5.8	22.0	0.4
	あなたは、この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか。(教科書や参考書、マンガは数に いれませんか。)		B層	5.8	24.7	24.3	16.6	8.9	4.2	15.4	0.0
			C層	9.6	25.8	24.6	11.5	8.5	4.6	15.4	0.0
			D層	12.4	27.0	20.8	17.8	5.0	3.5	12.7	0.8
			A-D層	-	-	-	-	-	-	-	-
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合 (%)						
					当てはまる	どちらかと言えば、当てはまる	どちらかと言えば、当てはまらない	当てはまらない	その他 無回答		
122	要素	追加質問	全体	86.1	66.4	19.7	9.2	4.7	0.0		
	小要素		A層	84.2	64.9	19.3	11.2	4.6	0.0		
	運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを することは好きだ。		B層	86.1	66.0	20.1	10.8	3.1	0.0		
			C層	88.5	68.1	20.4	7.3	4.2	0.0		
			D層	85.7	66.8	18.9	7.3	6.9	0.0		
			A-D層	-1.5	-	-	-	-	-		

[参考] 教科の好き嫌いと理解度についての肯定群回答割合

教科	好き	理解度
国語	68.3	89.4
社会	58.4	78.4
算数	64.9	77.5
理科	86.9	92.0
音楽	78.5	86.9
図画工作	81.7	88.1
体育	87.8	91.8
家庭	85.6	87.4
総合的な学習の時間	81.1	－
道徳	72.6	－
学級活動	85.2	－

IV 教科別分析概要及び 課題と改善の方向

2 中学校第2学年

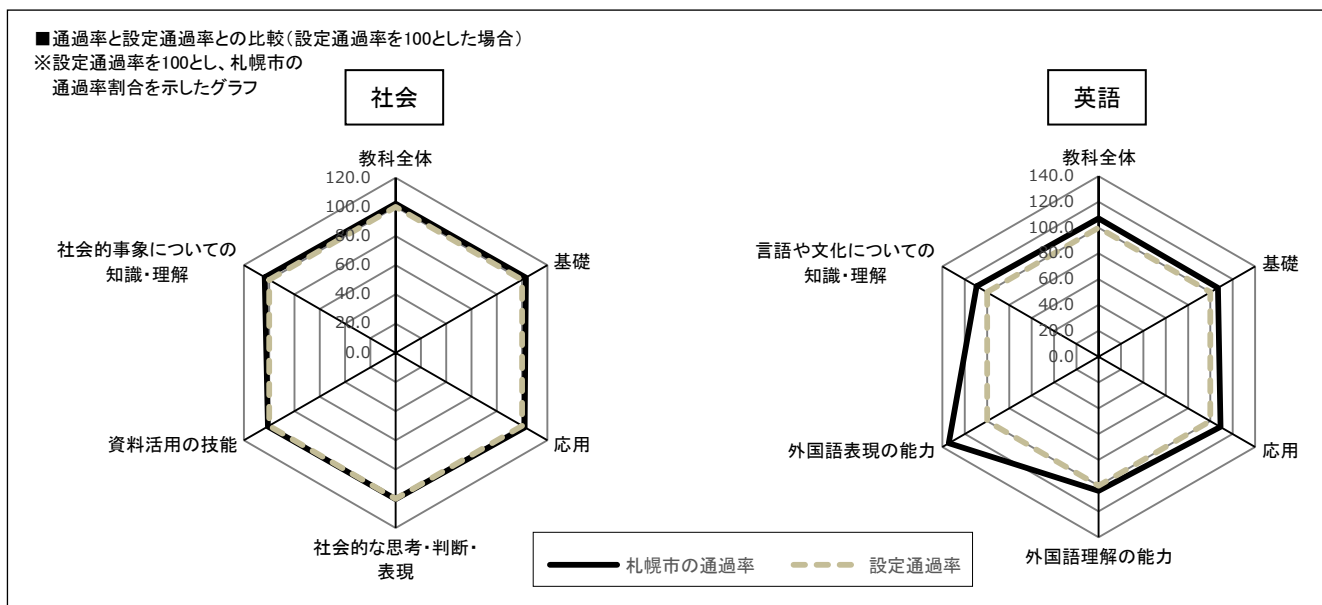
(1) 全体概要

(2) 中学校社会

2 中学校第2学年

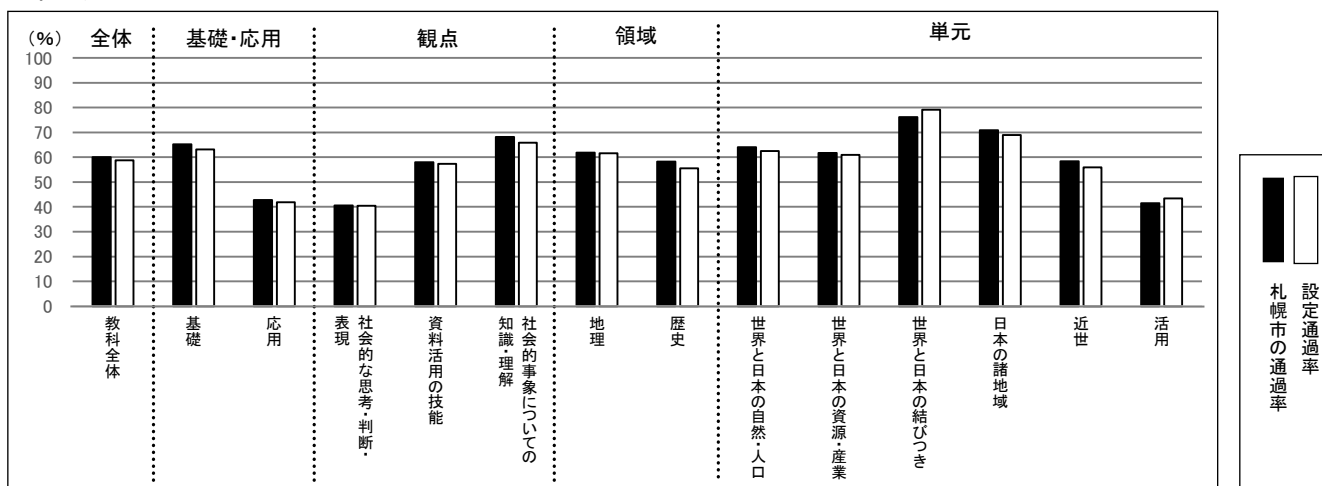
(1) 全体概要

■通過率と設定通過率との比較（社会・英語）

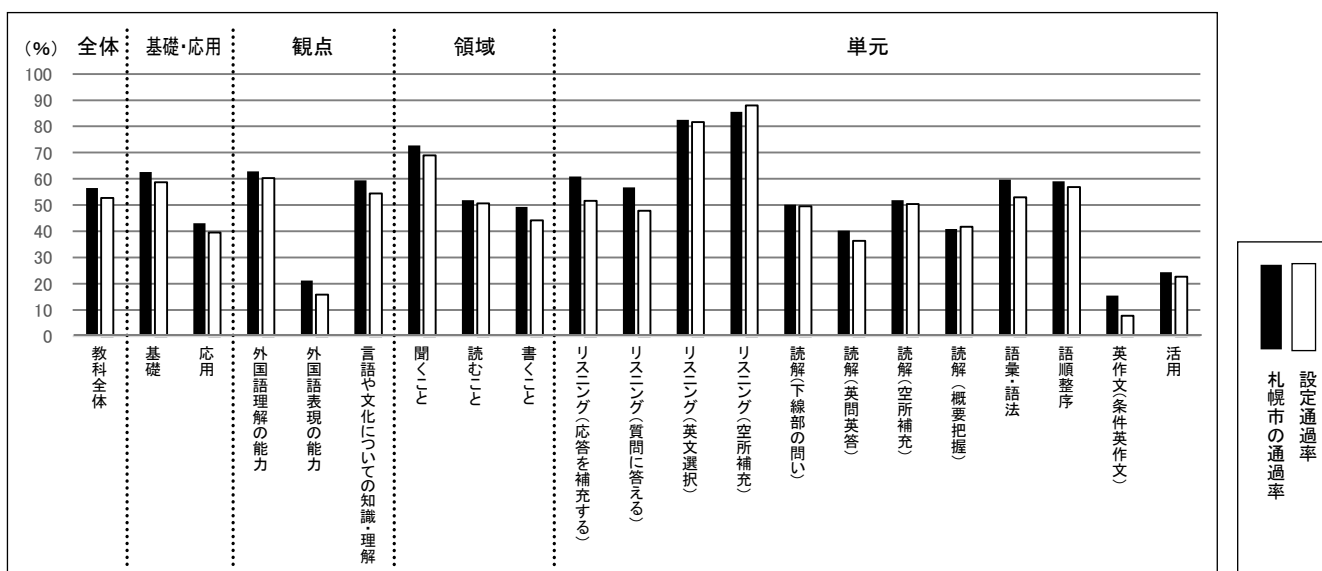


■全体概要

○社会



○英語



【通過率】

○社会

- ・教科全体を見ると、札幌市の通過率は 60.0%であり、設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回っている。
- ・基礎と応用別で見ると、「基礎」「応用」ともに設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回っている。
- ・観点別に見ると、全ての観点で設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回っている。
- ・領域別に見ると、「地理」「歴史」ともに設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回っている。

○英語

- ・教科全体で見ると、札幌市の通過率は 56.5%であり、設定通過率を 3.8 ポイント上回っている。
- ・基礎と応用別で見ると、「基礎」「応用」ともに設定通過率を上回っている。
- ・観点別に見ると、「外国語表現の能力」「言語や文化についての知識・理解」で設定通過率を上回っている。
- ・領域別に見ると、「聞くこと」「書くこと」で設定通過率を上回っており、特に「書くこと」について、設定通過率を 5.2 ポイント上回っている。

(2) 中学校社会

■通過率と設定通過率との比較

	項目	平成20年度			平成23年度			平成26年度			平成29年度		
		札幌市の通過率(平均)	設定通過率(平均)	札幌市の通過率と設定通過率との差	札幌市の通過率(平均)	設定通過率(平均)	札幌市の通過率と設定通過率との差	札幌市の通過率(平均)	設定通過率(平均)	札幌市の通過率と設定通過率との差	札幌市の通過率(平均)	設定通過率(平均)	札幌市の通過率と設定通過率との差
観 点	教科全体	65.0	61.3	3.7	63.1	59.1	4.0	58.6	58.4	0.2	60.0	58.7	1.3
	基礎	66.0	61.3	4.7	62.4	58.2	4.2	60.3	60.2	0.1	65.2	63.2	2.0
	応用	63.0	61.3	1.7	64.7	61.4	3.3	52.1	50.9	1.2	42.8	41.9	0.9
	社会的な思考・判断・表現	65.9	64.9	1.0	60.7	56.6	4.1	48.5	49.0	-0.5	40.6	40.5	0.1
	資料活用の技能	64.5	65.2	-0.7	65.5	61.4	4.1	55.9	56.2	-0.3	58.0	57.4	0.6
	社会的事象についての知識・理解	63.4	58.5	4.9	62.1	58.4	3.7	63.8	62.9	0.9	68.2	65.8	2.4

【経年比較】

■札幌市の通過率と設定通過率との差異

- ・教科全体を見ると、平成26年と比べ、1.1ポイントの上昇が見られる。
- ・観点別に見ると、平成26年度では設定通過率とほぼ同程度であるがやや下回っていた「社会的な思考・判断・表現」「資料活用の技能」について、平成29年度では設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回っている。
- ・平成26年度と比べて、「社会的な思考・判断・表現」は0.6ポイント、「資料活用の技能」は0.9ポイント、「社会的事象についての知識・理解」は1.5ポイントの上昇が見られる。

■設問別通過率

設問番号		設問内容	基礎 応用	出題 形式	札幌市 (平均) の通過率	設定 通過率	観点			領域		単元							
大問	小問						社会的な 思考・ 表現	資料活 用の技 能	社会的な 事象に ついての 知識・理 解	地 理	歴 史	自然・人 口の	世界と日 本の	資源・産 業	世界と日 本の	結びつき	日本の諸 地域	近 世	活 用
1	1	州別人口の変化のグラフから、あてはまる州を選択する	基礎	選択式	35.4	41.9	●			■		◆							
1	2	地図の分布を見て産出がさかんな鉱産資源を選択する	基礎	選択式	32.7	33.6	●			■			◆						
1	3	再生可能エネルギーを用いた発電を選択する	基礎	選択式	83.5	81.0		●		■			◆						
1	4	産業の分類に属しのある産業を選択する	基礎	選択式	68.9	68.0		●		■			◆						
1	5	日本の輸出額と輸出品目のグラフを読み取る	基礎	選択式	76.2	79.1	●			■					◆				
1	6	浸水予測や避難所が記載された地図の名称を答える	基礎	短答式	92.9	83.1		●		■		◆							
2	1	沖縄県でさかんな産業を選択する	基礎	選択式	95.8	93.6		●		■							◆		
2	2	畜産物の飼育頭数のグラフにあてはまる県を選択する	基礎	選択式	67.0	65.4		●		■							◆		
2	3	中国・四国地方の過疎化が進んだ地域の特徴を選択する	基礎	選択式	66.5	60.8		●		■							◆		
2	4	讃岐平野で水の確保が行われてきた理由を説明する	応用	記述式	24.1	32.8	●			■									◆
3	1	近畿地方の経済の中心地である都市の位置を選択する	基礎	選択式	66.4	65.2		●		■							◆		
3	2	阪神工業地帯に関するグラフから特色を読み取る	応用	選択式	67.5	67.3	●			■							◆		
3	3	中部地方の3つの都市の気候の特徴を選択する	基礎	選択式	62.0	56.7		●		■							◆		
3	4	資料から愛知県の水の生産に関する傾向を読み取る	応用	選択式	60.7	60.5	●			■									◆
4	1	豊臣秀吉が行った政策の内容を選択する	基礎	選択式	79.3	81.0		●		■								◆	
4	2	地図から鉄砲が伝えられた地を選択する	基礎	選択式	61.4	56.7	●			■								◆	
4	3	江戸幕府のしくみにあてはまる役職を答える	基礎	短答式	58.8	53.1		●		■								◆	
4	3	江戸幕府が行った政策を選択する	基礎	選択式	72.2	70.6		●		■								◆	
4	4	江戸時代の初めに行われた貿易について説明する	応用	記述式	20.5	17.9	●			■								◆	
5	1	江戸時代に米の生産性が向上した背景を選択する	基礎	選択式	65.6	59.9	●			■								◆	
5	2	江戸時代大阪で諸藩の物資が売られた建物を答える	基礎	短答式	49.6	42.5		●		■								◆	
5	3	百姓一揆と打ちこわしのグラフを読み取る	基礎	選択式	74.1	75.6	●			■								◆	
5	3	享保の改革の内容にあてはまるものを選択する	基礎	選択式	50.2	48.5		●		■								◆	
5	4	浮世絵「富嶽三十六景」の作者を選択する	基礎	選択式	77.2	75.4		●		■								◆	
6	1	長篠の戦いについて説明した語句の組み合わせを答える	基礎	選択式	67.7	72.6		●		■								◆	
6	2	桃山文化にあてはまる人物の説明を選択する	基礎	選択式	37.8	39.6		●		■								◆	
6	3	江戸時代初期に中国を統一した王朝を選択する	基礎	選択式	57.7	45.6		●		■								◆	
6	4	江戸時代のできごとを正しい順に並べたものを選択する	応用	選択式	45.7	39.6	●			■								◆	
7	1	資料から読み取れる江戸の発展内容を選択する	応用	選択式	54.4	51.2	●			■									◆
7	2	京都の外観規制の目的を説明する	応用	記述式	26.9	32.8	●			■									◆

□ 世界と日本の自然・人口に関する設問、世界と日本の資源・産業に関する設問、世界と日本の結びつきに関する設問

【大問１】 大問１は、地理の領域における複数の単元の内容について、小問集合の形式で問う設問となっており、６問の小問により構成されている。

- (１)「州別人口の変化」の通過率は 35.4%で、設定通過率を 6.5 ポイント下回っている。
- (２)「鉱産資源と地図」の通過率は 32.7%で、設定通過率とほぼ同程度であるがやや下回っている。
- (３)「再生可能エネルギーを用いた発電」の通過率は 83.5%で、設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回っている。
- (４)「産業の分類」の通過率は 68.9%で、設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回っている。
- (５)「日本の輸出額と輸出品目のグラフ」の通過率は 76.2%で、設定通過率とほぼ同程度であるがやや下回っている。
- (６)「浸水予測や避難所が記載された地図の名称」の通過率は 92.9%で、設定通過率を 9.8 ポイント上回っている。

「社会的事象についての知識・理解」の設問の通過率は設定通過率を上回っているか、ほぼ同程度であるがやや上回っているが、「資料活用の技能」の観点の設問の通過率は設定通過率を下回っているか、ほぼ同程度であるがやや下回っている。

資料から必要な情報をじっくりと読み取る活動や、読み取ったことを伝え合う活動の一層の充実が必要である。

□ 日本の諸地域に関する設問、活用に関する設問

【大問２】 大問２は、日本の諸地域（九州地方、中国・四国地方）に関する設問である。「社会的事象についての知識・理解」の観点を中心として問う設問となっており、４問の小問により構成されている。

- (１)「沖縄県の主要産業」の通過率は 95.8%で、設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回っている。
- (２)「畜産物の飼育頭数のグラフ」の通過率は 67.0%で、設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回っている。
- (３)「中国・四国地方の人口に関する課題」の通過率は 66.5%で、設定通過率を 5.7 ポイント上回っている。
- (４)「讃岐平野で水の確保が行われてきた理由」の通過率は 24.1%で、設定通過率を 8.7 ポイント下回っている。

【大問３】 大問３は、日本の諸地域（近畿地方、中部地方）に関する設問である。三つの観点から出題されており、４問の小問により構成されている。

- (１)「近畿地方の経済の中心地である都市の位置」の通過率は 66.4%で、設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回っている。
- (２)「阪神工業地帯の特色」の通過率は 67.5%で、設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回っている。
- (３)「中部地方の気候の特徴」の通過率は 62.0%で、設定通過率を 5.3 ポイント上回っている。

(4)「愛知県のきくの生産に関する傾向」の通過率は 60.7%で、設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回っている。

日本の諸地域の学習では、「動態的に扱う」ことが求められ、「思考・判断・表現」を伴う活動が重要となるが、考えるための基礎となる各地方の自然、産業、人口、文化などに関する知識を習得した上で、深く考える、というステップが必要となる。

「社会的事象についての知識・理解」「資料活用の技能」に関する全ての小問の通過率が、設定通過率を上回っている、または、ほぼ同程度であるがやや上回っていることから、基礎的・基本的な知識及び技能については、概ね定着していると考えられる。

「社会的な思考・判断・表現」に関する大問2の(4)「讃岐平野で水の確保が行われてきた理由を説明する」の通過率が、設定通過率を下回っていることから、「そのような社会的事象が起こったのはなぜか」等の学習課題について、複数の資料から読み取ったことを関連付けて説明するなど、課題探究的な学習の充実を図っていくことが必要である。

□ 近世に関する設問

【大問4】 大問4は、安土桃山時代から江戸時代初期に活躍した人物や政策についての小問集合の形式で問う設問である。「社会的事象についての知識・理解」「資料活用の技能」の観点を中心とした設問となっており、5問の小問により構成されている。

- (1)「豊臣秀吉が行った政策」の通過率は 79.3%であり、設定通過率とほぼ同程度であるがやや下回っている。
- (2)「鉄砲が伝えられた地」の通過率は 61.4%であり、設定通過率を 4.7 ポイント上回っている。
- (3)ア「江戸幕府の役職」の通過率は 58.8%であり、設定通過率を 5.7 ポイント上回っている。
- (3)イ「江戸幕府の政策」の通過率は 72.2%であり、設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回っている。
- (4)「江戸時代の初期の貿易」の通過率は 20.5%であり、設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回っている。

【大問5】 大問5は、安土桃山時代から江戸時代の農業・商業・文化等について、資料を見ながら解く「社会的事象についての知識・理解」の観点を中心とした設問となっており、5問の小問により構成されている。

- (1)「江戸時代に米の生産性が向上した背景」の通過率は 65.6%であり、設定通過率を 5.7 ポイント上回っている。
- (2)「江戸時代大阪で諸藩の物資が売られた建物」の通過率は 49.6%であり、設定通過率を 7.1 ポイント上回っている。
- (3)ア「百姓一揆と打ちこわしの件数」の通過率は 74.1%であり、設定通過率とほぼ同程度であるがやや下回っている。
- (3)イ「享保の改革の内容」の通過率は 50.2%であり、設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回っている。
- (4)「浮世絵『富嶽三十六景』の作者」の通過率は 77.2%であり、設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回っている。

【大問6】 大問6は、安土桃山時代から江戸時代初期について、年表を見ながら解く「社会的事象についての知識・理解」の観点を中心とした設問となっており、4問の小問により構成している。

- (1)「長篠の戦い」の通過率は67.7%であり、設定通過率を4.9ポイント下回っている。
- (2)「桃山文化」の通過率は37.8%であり、設定通過率とほぼ同程度であるがやや下回っている。
- (3)「江戸時代初期に中国を統一した王朝」の通過率は57.7%であり、設定通過率を12.1ポイント上回っている。
- (4)「江戸時代のできごとの順序」の通過率は45.7%であり、設定通過率を6.1ポイント上回っている。

近世の単元における通過率は、小問14問中13問で設定通過率を上回るかほぼ同程度となっており、この単元での学習内容については、概ね定着していると考えられる。

一方、通過率が設定通過率を下回ったのは「社会的事象についての知識・理解」の観点の設問である大問6の(1)「長篠の戦いについて説明した語句の組み合わせを答える」であった。

細かい歴史的事象を覚えるだけでなく、既習事項の理解を基にして、歴史上の人物とその政策や各時代の特色等を関連付けて思考を深めることが重要である。そのためには、歴史的事象間の関連について伝え合う活動などを通して、学習内容の理解を深めていくことが必要である。

□ 活用にに関する設問

【大問7】 大問7は、資料をもとに解く問題で、「資料活用の技能」「社会的な思考・判断・表現」の観点からそれぞれ1問ずつ出題している。

- (1)「資料から読み取れる江戸の発展内容」の通過率は54.4%であり、設定通過率を3.2ポイント上回っている。
- (2)「京都の外観規制の目的の説明」の通過率は26.9%であり、設定通過率を5.9ポイント下回っている。

複数の資料から必要な情報を読み取り、キーワードを使って記述する問題の通過率が、設定通過率を下回る結果になっている。資料を様々な観点から考察し、そこから得た結論について意見交換をするなど、表現力を高める指導の工夫が必要である。

■社会科の学習に関する意識結果

質問 番号	質問内容	年度	肯定群 回答割合 (%)	とても あてはまる	やや あてはまる	あまり あてはまらない	まったく あてはまらない
1	社会の学習をして、我が国と世界の国々の様子、歴史の流れや各時代の特色が分かり、もっと知りたいと思った。	平成20年度	62.8	17.8	44.9	27.9	9.2
		平成23年度	67.6	21.0	46.1	23.6	8.5
		平成26年度	66.7	18.8	47.5	25.4	7.7
		平成29年度	70.2	22.0	48.0	21.3	8.4
2	社会の学習内容で分からないことや疑問をもったことについて、自分から調べるようにしている。	平成20年度	43.9	10.1	33.7	39.8	16.2
		平成23年度	48.9	12.5	36.0	36.9	13.8
		平成26年度	51.2	11.5	39.3	37.0	11.5
		平成29年度	54.5	16.4	37.9	34.5	10.9
3	地域や国土の良さを大切にしたいと思う。	平成20年度	70.6	27.5	42.9	22.3	7.0
		平成23年度	75.6	34.5	40.6	18.3	5.9
		平成26年度	80.8	36.4	43.8	14.5	4.6
		平成29年度	85.0	44.9	39.8	11.7	3.3
4	社会の学習で新しく地名が出てきたら、地図で確認するようにしている。	平成20年度	32.6	9.3	23.2	38.4	28.9
		平成23年度	39.0	11.2	27.4	38.0	22.5
		平成26年度	38.8	10.1	28.4	39.9	20.9
		平成29年度	41.7	12.9	28.6	36.3	21.8
5	調べ学習のときなどに、図書館や、インターネットを利用して資料を集め活用している。	平成20年度	58.6	30.9	27.5	22.6	18.7
		平成23年度	57.7	30.4	26.8	25.1	16.9
		平成26年度	50.4	22.3	27.8	27.4	21.9
		平成29年度	61.5	30.5	30.8	22.9	15.5
6	社会の学習をして、ニュースや新聞に出てくる出来事に興味をもつようになった。	平成20年度	62.2	20.9	41.1	25.9	11.8
		平成23年度	62.0	23.0	38.5	25.6	12.1
		平成26年度	64.5	25.8	38.2	24.6	10.7
		平成29年度	66.5	25.2	41.0	22.9	10.4
7	地域や国土の自然を守るために、自分にできることを見付けてそれを実行している。	平成20年度	42.9	9.5	33.2	37.3	19.7
		平成23年度	47.5	11.6	35.5	35.7	16.4
		平成26年度	38.4	8.4	29.8	41.7	19.5
		平成29年度	41.3	9.8	31.3	39.9	18.4

■社会科の学力との関係が大きい項目

質問 番号	質問内容	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)					学力層別 肯定群回答割合(%)				
			よく	やや	あまり	まったく	その他 無回答	A層	B層	C層	D層	A-D層 の差
1	社会の学習をして、我が国と世界の国々の様子、歴史の流れや各時代の特色が分かり、もっと知りたいと思った。	70.2	22.0	48.0	21.3	8.4	0.3	84.1	74.2	61.4	61.0	23.1
2	社会の学習内容で分からないことや疑問をもったことについて、自分から調べるようにしている。	54.5	16.4	37.9	34.5	10.9	0.3	73.0	56.7	47.8	40.2	32.8

※「学力層別 肯定群回答割合」は、正答数の大きい順から 25%刻みで分けられた4つの層（上位からA層、B層、C層、D層の順）において、肯定的に回答した生徒の割合

<全体について>

- 平成26年度に比べ、全ての質問において、肯定的な回答をした生徒の割合が増加している。
- 成績上位層（A層）と下位層（D層）との差が大きかった質問は、「社会の学習をして、我が国と世界の国々の様子、歴史の流れや各時代の特色が分かり、もっと知りたいと思った」「社会の学習内容で分からないことや疑問をもったことについて、自分から調べるようにしている」であった。社会の授業で学習した内容に対して、主体的に調べる態度があることが、教科学力と関わりが大きいと考えられる。

＜設問別分析＞

- 「**社会の学習をして、我が国と世界の国々の様子、歴史の流れや各時代の特色が分かり、もっと知りたいと思った**」という質問では、肯定的な回答が 70.2%であった。また、A－D層の差が 23.1 ポイントと大きかった。生徒の興味・関心を喚起する社会的事象のピックアップと課題の設定に重点を置くとともに、写真や資料を効果的に活用したり、様々な意見を交流したりするなどして、生徒の意欲を高める工夫を行っていくことが求められる。
- 「**社会の学習内容で分からないことや疑問をもったことについて、自分から調べるようにしている**」という質問では、肯定的な回答が 54.5%であった。また、A－D層の差が 32.8 ポイントと最も大きかった。生徒が自ら課題を発見し、その解決に向けて取り組めるような授業展開を工夫するとともに、様々な調べ方を身に付けられるように指導していくことが求められる。
- 「**地域や国土の良さを大切にしたいと思う**」という質問では、肯定的な回答が 85.0%であった。引き続き、様々な地域の特色についての理解を深める指導を行うとともに、学校教育の重点に位置付けられている「ふるさと札幌」についての学びを深める指導を充実させることが求められる。
- 「**社会の学習で新しく地名が出てきたら、地図で確認するようにしている**」という質問では、肯定的な回答が 41.7%であった。生徒が自ら地図帳を開いて確認したくなるような発問の工夫などが求められる。
- 「**調べ学習のときなどに、図書館や、インターネットを利用して資料を集め活用している**」という質問では、肯定的な回答が 61.5%であった。図書館や、インターネットの利用の方法や、情報の活用の方法を身に付けることが大切であり、授業の中で、図書館やコンピュータを活用する学習を取り入れることが求められる。
- 「**社会の学習をして、ニュースや新聞に出てくる出来事に興味をもつようになった**」という質問では、肯定的な回答が 66.5%であった。様々なニュースや新聞記事と、社会科の学習とを関連させた指導が求められる。
- 「**地域や国土の自然を守るために、自分にできることを見付けてそれを実行している**」という質問では、肯定的な回答が 41.3%であった。授業で、身近な環境問題について取り上げるなどして、環境保全に対する意識を高めるとともに、社会の学習で学んだことを、実生活や他教科の内容と結び付けて考えることを促す指導が求められる。

Ⅳ 教科別分析概要及び 課題と改善の方向

2 中学校第2学年

(3) 中学校英語

(3) 中学校英語

■通過率と設定通過率との比較

	項目	平成20年度			平成23年度			平成26年度			平成29年度		
		札幌市の通過率(平均)	設定通過率(平均)	札幌市の通過率と設定通過率との差	札幌市の通過率(平均)	設定通過率(平均)	札幌市の通過率と設定通過率との差	札幌市の通過率(平均)	設定通過率(平均)	札幌市の通過率と設定通過率との差	札幌市の通過率(平均)	設定通過率(平均)	札幌市の通過率と設定通過率との差
	教科全体	64.6	65.8	-1.2	69.2	67.0	2.2	61.0	58.9	2.1	56.5	52.7	3.8
	基礎	78.1	77.9	0.2	73.0	70.7	2.3	69.7	67.4	2.3	62.6	58.7	3.9
	応用	52.0	54.9	-2.9	54.7	52.8	1.9	37.6	36.4	1.2	43.1	39.5	3.6
観点	外国語理解の能力	72.6	72.5	0.1	69.9	68.7	1.2	67.8	65.8	2.0	62.8	60.3	2.5
	外国語表現の能力	48.7	53.3	-4.6	58.2	53.2	5.0	26.3	22.5	3.8	21.2	15.8	5.4
	言語や文化についての知識・理解	55.3	58.2	-2.9	69.7	65.9	3.8	66.3	64.9	1.4	59.4	54.4	5.0

【経年比較】

■札幌市の通過率と設定通過率との差異

- ・教科全体を見ると、平成26年度と比べ、1.7ポイントの上昇が見られる。
- ・観点別に見ると、「外国語理解の能力」は0.5ポイント、「外国語表現の能力」は1.6ポイント、「言語や文化についての知識・理解」は3.6ポイントの上昇が見られる。

■設問別通過率

設問番号		設問内容	基礎 応用	出題 形式	札幌市 の通過率 (平均)	設定 通過率	観点			領域			単元											活用
大問	小問						外国語 理解の 能力	外国語 表現の 能力	言語や 文化に ついて 理解	聞くこ と	読むこ と	書くこ と	(リス ニング を補 完す る)	(リス ニ ン グ に 答 え る)	(リス ニ ン グ 選 択)	(リス ニ ン グ の 空 所 補 充)	(リス ニ ン グ の 空 所 補 充)	(読 解 の 要 要 把 握)	(読 解 の 要 要 把 握)	(読 解 の 要 要 把 握)	(読 解 の 要 要 把 握)	(読 解 の 要 要 把 握)	(読 解 の 要 要 把 握)	
1	A 1	絵のバス乗り場を説明している英文を聞き取る	基礎	選択式	80.9	80.6	●			■					◆									
1	A 2	表の曜日と予定を説明している英文を聞き取る	基礎	選択式	76.1	72.7	●			■					◆									
1	A 3	絵の状況を説明する現在進行形の動作を聞き取る	基礎	選択式	90.6	91.8	●			■					◆									
1	B 1	会話を聞いて、文脈から適切な応答文を選ぶ	基礎	選択式	54.6	40.6	●			■				◆										
1	B 2	会話を聞いて、文脈から適切な応答文を選ぶ	基礎	選択式	67.3	62.6	●			■				◆										
1	C 1	会話を聞いて、修学旅行のしおりの表を補充する	基礎	選択式	78.4	80.6	●			■						◆								
1	C 2	会話を聞いて、修学旅行のしおりの表を補充する	基礎	選択式	92.8	95.3	●			■						◆								
1	D 1	アンケート結果を聞き、質問に合うグラフを選ぶ	応用	選択式	57.9	44.6	●			■				◆										
1	D 2	アンケート結果を聞き、質問に合う場所を選ぶ	応用	選択式	55.5	51.0	●			■				◆										
2	1	英文に合う単語(twelve)を記述する	基礎	短答式	49.6	41.9		●				■								◆				
2	2	英文に合う単語(August)を記述する	基礎	短答式	47.2	41.7		●				■								◆				
2	3	英文に合う単語(hospital)を記述する	基礎	短答式	58.9	50.7		●				■								◆				
3	1	3人称単数現在の否定文を選ぶ	基礎	選択式	60.4	54.6		●				■								◆				
3	2	主語が複数の場合のhave toを選ぶ	基礎	選択式	59.5	54.6		●				■								◆				
3	3	listenの過去進行形を選ぶ	基礎	選択式	66.9	63.3		●				■								◆				
3	4	catchの過去形を選ぶ	基礎	選択式	75.1	64.7		●				■								◆				
4	1	主語+must+動詞の原形と判断し正しい語順で表す	基礎	選択式	83.7	80.6		●				■									◆			
4	2	anything+不定詞と判断し正しい語順で表す	基礎	選択式	33.9	32.5		●				■									◆			
4	3	be going toと判断し正しい語順で表す	基礎	選択式	74.7	75.2		●				■									◆			
4	4	接続詞のwhenを使うと判断し正しい語順で表す	基礎	選択式	43.8	37.5		●				■									◆			
5		メールへの返事として自分の考えを記述する	応用	記述式	24.4	22.6		●				■												◆
6	1	英語のチラシを読み、問われている情報を検索する	基礎	選択式	71.5	70.9	●				■						◆							
6	2	英語のチラシを読み、問われている情報を検索する	基礎	選択式	44.5	41.0	●				■						◆							
7	1	会話文の流れに合う英文を記述する	基礎	記述式	15.4	7.7		●				■												◆
7	2	下線部の代名詞Weが表す内容を選ぶ	基礎	選択式	50.1	49.5	●				■						◆							
7	3 1	本文についての要約文の一部を日本語で補充する	応用	選択式	71.8	73.4	●				■							◆						
7	3 2	本文についての要約文の一部を日本語で補充する	応用	選択式	68.9	68.1	●				■								◆					
8	1	英文の題名を選ぶ	応用	選択式	40.8	41.7	●				■									◆				
8	2 1	本文の内容に関する質問に英語で答える	応用	記述式	15.1	9.9		●				■						◆						
8	2 2	本文の内容に関する質問に英語で答える	応用	記述式	30.1	23.4		●				■							◆					
9	1	資料を参考に会話を読み、適する語句を選ぶ	応用	選択式	28.2	27.0	●				■									◆				
9	2	資料を参考に会話を読み、適する語句を選ぶ	応用	選択式	38.6	33.2	●				■									◆				

□ リスニングに関する設問

「聞くこと」領域における「外国語理解の能力」の実現状況を把握するための設問であり、4問の大問、9問の小問で構成されている。

【大問１－Ａ】絵や表について説明する英文を聞いて、文の内容に合致する英文を選択する設問

- (1) 通過率は80.9%であり、設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回っている。
- (2) 通過率は76.1%であり、設定通過率を3.4ポイント上回っている。
- (3) 通過率は90.6%であり、設定通過率とほぼ同程度であるがやや下回っている。

【大問１－Ｂ】会話を聞いて、会話の最後の文に対する応答を選択する設問

- (1) 通過率は54.6%であり、設定通過率を14.0ポイント上回っている。
- (2) 通過率は67.3%であり、設定通過率を4.7ポイント上回っている。

【大問１－Ｃ】会話を聞いて、表の空欄に当てはまるもの（日本語）を選択する設問

- (1) 通過率は78.4%であり、設定通過率とほぼ同程度であるがやや下回っている。
- (2) 通過率は92.8%であり、設定通過率とほぼ同程度であるがやや下回っている。

【大問１－Ｄ】長い英文を聞き、内容についての英語の質問に対する答えを選択する設問

- (1) 通過率は57.9%であり、設定通過率を13.3ポイント上回っている。
- (2) 通過率は55.5%であり、設定通過率を4.5ポイント上回っている。

リスニングに関する設問については、設定通過率を上回っている設問が小問9問中5問あり、リスニングに関する能力は概ね定着している。

音声教材を効果的に活用するなどして多くの英語を聞く機会を設定するとともに、教師や生徒が積極的に英語を用いることで、音声によるコミュニケーションを重視した指導の充実に努めていくことが必要である。

□ 語彙に関する設問

「書くこと」領域における「言語や文化についての知識・理解」の実現状況を把握するための設問であり、3問の小問により構成されている。

【大問２】英文を読んで、その英文の内容に適する単語を書く設問

- (1) 通過率は49.6%であり、設定通過率を7.7ポイント上回っている。
- (2) 通過率は47.2%であり、設定通過率を5.5ポイント上回っている。
- (3) 通過率は58.9%であり、設定通過率を8.2ポイント上回っている。

語彙に関する設問については、3問とも設定通過率を上回っていた。

数、月、日常生活に関する語彙をコミュニケーション活動場面で使用するとともに、書く活動においても積極的に活用することを通して、定着を図ることが必要である。

□ 語形変化に関する設問

「書くこと」領域における「言語や文化についての知識・理解」の実現状況を把握するための設問であり、4問の小問により構成されている。

【大問3】英文中の空欄にあてはまる語形の動詞を選択する設問

- (1) 「3人称単数現在の否定文」の通過率は 60.4%であり、設定通過率を 5.8 ポイント上回っている。
- (2) 「主語が複数の場合の have to」の通過率は 59.5%であり、設定通過率を 4.9 ポイント上回っている。
- (3) 「listen の過去進行形」の通過率は 66.9%で、設定通過率を 3.6 ポイント上回っている。
- (4) 「catch の過去形」の通過率は 75.1%で、設定通過率を 10.4 ポイント上回っている。

語形変化に関する設問については、全ての設問で設定通過率を上回っており、特に(4)では設定通過率を 10.4 ポイント上回った。

人称を意識しながら動詞の時制を変化させるためには、「覚える」ことにとどまらず、日常の対話で活用できるように、具体的な場面を設定して対話する活動等の演習機会を設定することが必要である。

□ 語順整序に関する設問

「書くこと」領域における「言語や文化についての知識・理解」の実現状況を把握するための設問であり、4問の小問により構成されている。

【大問4】与えられた会話文が成立するよう語順を並べかえる設問

- (1) 「主語+must+動詞の原形の語順」の通過率は 83.7%で、設定通過率を 3.1 ポイント上回っている。
- (2) 「anything+不定詞の語順」の通過率は 33.9%で、設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回っている。
- (3) 「be going to の語順」の通過率は 74.7%で、設定通過率とほぼ同程度であるがやや下回っている。
- (4) 「接続詞の when と語順」の通過率は 43.8%で、設定通過率を 6.3 ポイント上回っている。

語順整序に関する問題では、設定通過率を上回るかほぼ同程度となっている。

生活場面に即した英語による表現ができるよう、自分の考えや身近な出来事などを、相手に伝える文章を書く活動などを通して、文法事項や語彙を活用した指導の一層の充実が必要である。

□ 活用に関する設問

「書くこと」領域における「外国語表現の能力」の実現状況を把握するための設問

【大問5】 英文の電子メールに対する返事として、示された語句例を参照し、与えられた条件に従って自分の考えを書く問題である。

通過率は 24.4%であり、設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回っている。

書く活動においては、日頃から生徒の身近な題材や興味のあるトピックを選定し、自分の考えたことなどを書く活動を多く取り入れることが求められる。その際、個々の習熟度に応じて、書くためのヒントとなる単語や熟語、定型文などを例示したり、辞書の使用を促したりするなど、生徒が自ら表現を工夫することができるように支援していくことが必要である。

□ 読解に関する設問、英作文に関する設問

「読むこと」領域における「外国語理解の能力」、「書くこと」領域における「外国語表現の能力」の実現状況を把握するための設問であり、4問の大問、11問の小問で構成されている。

【大問6】 英語のチラシを読み、問われている情報を検索する設問

(1) 通過率は 71.5%で、設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回っている。

(2) 通過率は 44.5%で、設定通過率を 3.5 ポイント上回っている。

【大問7】 会話文を読んで問いに答える設問

(1) 「会話文の流れに合う英文」の通過率は 15.4%で、設定通過率を 7.7 ポイント上回っている。

(2) 「代名詞 We が表す内容」の通過率は 50.1%で、設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回っている。

(3) 「要約文」の問題①の通過率は 71.8%で設定通過率とほぼ同程度であるがやや下回り、問題②の通過率は 68.9%で、設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回っている。

【大問8】 英語の長文を読んで問いに答える設問

(1) 「英文の題名」の通過率は 40.8%で、設定通過率とほぼ同程度であるがやや下回っている。

(2) 「本文の内容に関する質問」の問題①の通過率は 15.1%で、設定通過率を 5.2 ポイント上回っており、問題②の通過率は 30.1%で、設定通過率を 6.7 ポイント上回っている。

【大問9】 資料をもとに、対話文中の空欄に当てはまる英文を選択する設問

(1) 通過率は 28.2%で、設定通過率とほぼ同程度であるがやや上回っている。

(2) 通過率は 38.6%で、設定通過率を 5.4 ポイント上回っている。

大問6から大問9において、設定通過率を上回っている設問は小問 11 問中 5 問あり、英文を読み取り理解する力は、ある程度定着しているといえる。

一方、英作文については、設定通過率を大きく上回っているものの、通過率は 15.4%にとどまっている。

今後は、まとまりのある英文を読む活動において、例えば、内容の大まかな流れを読み取ることができるよう、手がかりとなるキーワードを考えたり、5W1Hに着目したりすることで、要点を把握し、前後のつながりを意識しながら読む力を身に付けるなど、指導の工夫改善を図っていくことが必要である。

■英語科の学習に関する意識結果

質問 番号	質問内容	年度	肯定群 回答割合 (%)	とても 当てはまる	やや 当てはまる	あまり 当てはまらない	まったく 当てはまらない
1	英語で話しかけられたときに、相手の言うことを聞き取ろうとしている。	平成20年度	57.3	18.9	38.2	30.5	12.1
		平成23年度	58.2	17.1	41.0	31.9	9.8
		平成26年度	85.4	44.6	40.5	10.0	4.5
		平成29年度	87.9	47.9	39.6	8.5	3.6
2	間違いを恐れずに、英語で話そうとしている。	平成20年度	52.3	19.0	33.2	31.9	15.7
		平成23年度	54.8	19.6	35.0	33.8	11.2
		平成26年度	57.3	14.3	42.8	34.6	7.9
		平成29年度	59.9	18.6	41.2	33.2	6.8
3	身近な看板などを書いてある英単語や英文を読んでみようと思う。	平成20年度	45.1	20.0	25.0	30.0	24.7
		平成23年度	48.9	20.9	27.9	30.6	20.3
		平成26年度	78.3	43.6	34.4	14.3	7.3
		平成29年度	76.2	41.4	34.6	15.5	8.3
4	英作文をするときには、間違いを恐れずに書こうとしている。	平成20年度	57.9	21.5	36.3	27.9	14.0
		平成23年度	61.7	24.8	36.8	28.0	10.2
		平成26年度	63.0	20.1	42.6	28.7	8.1
		平成29年度	63.6	21.9	41.6	29.3	7.0
5	英語の文章は、音読をするようにしている。	平成20年度	61.8	24.7	37.0	25.8	12.3
		平成23年度	64.4	26.5	37.7	26.9	8.6
		平成26年度	60.5	22.0	38.2	29.2	10.1
		平成29年度	64.2	26.3	37.7	27.4	8.3
6	知らない単語が出てきたら、自分で調べるようにしている。	平成20年度	69.0	31.0	37.9	19.6	11.2
		平成23年度	71.5	34.1	37.3	19.7	8.8
		平成26年度	73.0	33.9	38.7	18.3	8.6
		平成29年度	72.0	34.8	37.1	20.2	7.7
7	理解できない単語があっても、諦めずに自分で意味を考えながら聞いたり読んだりするようにしている。	平成20年度	67.3	24.8	42.3	21.4	11.2
		平成23年度	70.1	28.4	41.0	23.0	6.6
		平成26年度	67.8	26.9	40.4	22.9	9.1
		平成29年度	69.5	25.9	43.3	21.7	8.7

■英語科の学力との関係が大きい項目

質問 番号	質問内容	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)					学力層別 肯定群回答割合(%)				
			よく	やや	あまり	まったく	その他 無回答	A層	B層	C層	D層	A-D層 の差
4	英作文をするときには、間違いを恐れずに書こうとしている。	63.6	21.9	41.6	29.3	7.0	0.3	84.1	68.3	62.5	39.7	44.4
7	理解できない単語があっても、諦めずに自分で意味を考えながら聞いたり読んだりするようにしている。	69.5	25.9	43.3	21.7	8.7	0.3	88.8	72.7	68.5	48.0	40.8

※「学力層別 肯定群回答割合」は、正答数の大きい順から 25%刻みで分けられた4つの層（上位からA層、B層、C層、D層の順）において、肯定的に回答した生徒の割合

<全体について>

- 平成 26 年度に比べて、概ね肯定的な回答をした生徒の割合が増加しているが、「身近な看板などに書いてある英単語や英文を読んでみようと思う」「知らない単語が出てきたら、自分で調べるようにしている」については、肯定的な回答をした生徒の割合が減少している。
- A－D 層の差が大きかった質問は、「英作文をするときには、間違いを恐れずに書こうとしている」「理解できない単語があっても、諦めずに自分で意味を考えながら聞いたり読んだりするようにしている」であり、自ら粘り強く、対象に働きかけようとする意欲を育てることが大切である。

<設問別分析>

- 「英語で話しかけられたときに、相手の言うことを聞き取ろうとしている」「間違いを恐れずに英語で話そうとしている」「身近な看板などに書いてある英単語や英文を読んでみようと思う」という質問では、肯定的な回答の割合がそれぞれ 87.9%、59.9%、76.2%となっており、英語を用いてコミュニケーションを図ることに対して、生徒が肯定的に捉えて学習に取り組んでいることが分かる。今後も英語による他者とのコミュニケーションの大切さや楽しさを実感させることに焦点を当てた指導の一層の充実が必要である。
- 「英作文をするときには、間違いを恐れずに書こうとしている」という質問では、肯定的に回答した割合が 63.6%となっている。この項目は、教科学力との関係が大きく、「間違えても恥ずかしくない」という気持ちをもたせるような雰囲気づくりや働きかけも重要である。また、聞いたり、読んだり、話したりしたことについて、その内容を要約して書くなど、4 技能を統合したコミュニケーション活動を通した指導の充実が引き続き求められる。
- 「英語の文章は、音読をするようにしている」という質問では、肯定的な回答の割合が 64.2%となっており、平成 26 年度と比べて 3.7 ポイント上昇している。教科書の本文などを音読させる際の指導の工夫が引き続き求められる。例えば、物語や対話文で、場面の設定やその背景などから登場人物の心情にふさわしい読み方を考えたり、説明文で、伝えたい内容は何かを考えたりしながら、音読するスピードや単語の強弱を変えて読むことなどが効果的である。
- 「知らない単語が出てきたら、自分で調べるようにしている」という質問では、肯定的に回答した割合が 72.0%となっており、言語事項に対する興味・関心が高いことがうかがえる。また、教科学力との関係が大きい項目でもあることから、適宜辞書の活用を図り、知らない単語について調べることを習慣化するとともに、その単語を含んだ例文に数多く触れるようにすることも重要である。
- 「理解できない単語があっても、諦めずに自分で意味を考えながら聞いたり読んだりするようにしている」という設問では、肯定的に回答した割合が 69.5%となっている。英語を聞いたり読んだりする際に、分からない単語があっても、内容を理解しようとしていることがうかがえる。聞き取りや読み取りのポイントとなるキーワードやセンテンスを手掛かりとして概要を推測しながら、内容や情報を捉える活動を取り入れた指導の一層の充実が求められる。

Ⅳ 教科別分析概要及び 課題と改善の方向

2 中学校第2学年

(4) 学習についての アンケート(中学校)

(4) 学習についてのアンケート（中学校）

①教科学力と関係が大きい項目の肯定群回答割合（％）

質問 番号	カテゴリー 上段：視点 中段：要素 下段：小要素	質問内容	札幌市	札幌市学力層別				
				A層	B層	C層	D層	A－D層 の差
37	学びの基礎力 学びを律する力 学習継続力	分からないことはそのままにせず、分かるまで努力している。	60.6	82.9	65.3	58.6	35.7	47.2
31	学びの基礎力 自ら学ぶ力 学習定着のための方略	授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。	61.9	85.7	61.0	58.2	43.0	42.7
143	追加質問	分からないことは、自分で調べてはつきりさせようとしている。	57.6	78.2	62.0	53.4	36.4	41.8
147	追加質問	意見を書くときには、その理由をはつきりさせて書くようにしている。	66.4	84.9	71.6	62.7	46.4	38.5
28	学びの基礎力 自ら学ぶ力 学習スキル	テストで間違えた問題は、もう一度やり直している。	55.4	70.2	59.4	55.2	36.9	33.3
43	社会的実践力 問題解決力	調べて分かったことをもとに、考えをまとめることができる。	58.5	77.0	61.4	51.8	44.0	33.0
44	社会的実践力 問題解決力	筋道を立てて、ものごとを考えることができる。	59.6	78.2	58.6	54.2	47.6	30.6
90	学習方略 数学	数学の授業で、文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明したことがある。	41.4	58.7	38.6	39.8	28.3	30.4
30	学びの基礎力 自ら学ぶ力 学習定着のための方略	新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。	38.6	53.2	41.6	36.7	23.0	30.2
156	追加質問	外国の人と交流する機会をもちたいと思う。（話をしたり、一緒に何かの活動をしたりするなど）	49.9	65.5	51.4	46.2	36.0	29.5

②カテゴリーごとの平均スコア

※平均スコアとは、各質問の回答を全員が「とても」と回答した場合に100、全員が「まったく」と回答した場合に0となるようにカテゴリーごとに集計した数値

カテゴリー	札幌市	札幌市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A－D層の差
学びの基礎力	61.8	66.6	62.3	61.4	57.2	9.4
社会的実践力	60.9	67.7	62.3	58.7	54.9	12.8
学級力	57.4	58.1	57.2	57.4	56.9	1.2
家庭学習力	59.8	65.1	60.6	60.8	53.0	12.1

※本調査では、以下のような意味で質問項目を分類している。

- ・「学びの基礎力」…豊かな基礎体験、学びに向かう力など
- ・「社会的実践力」…問題解決力、自己成長力など
- ・「学級力」………対話力、支え合う力など
- ・「家庭学習力」……家庭学習の環境や習慣について

○教科学力との関係が大きい質問項目について

- ・「分からないことはそのままにせず、分かるまで努力している」、「授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている」、「分からないことは、自分で調べてはつきりさせようとしている」の質問に肯定的に回答していることと、教科学力との関係が大きかった。
- ・カテゴリー別に見ると、「社会的実践力」、「家庭学習力」において、教科学力との関係が大きかった。疑問や課題を発見し、主体的に解決していく態度などの「社会的実践力」を育む指導方法等の工夫改善が求められるとともに、家庭学習の習慣を定着させる指導の工夫が求められる。

③学習についてのアンケート（中学校）結果一覧

質問 番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	札幌市	札幌市学力層別					
				A層	B層	C層	D層	A—D層 の差	差の大きい 質問の順位
1	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	友だちと外で遊んでいる。	63.7	57.1	57.4	63.7	76.2	-19.1	105
2	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	ゲーム機やケータイ、スマートフォンでゲームをしている。	83.8	77.4	81.3	87.6	88.9	-11.5	104
3	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	本や新聞を読んでいる。	72.7	75.7	78.9	72.9	63.5	12.2	40
4	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	パソコンやインターネットを使う。	88.9	90.1	88.8	87.3	89.3	0.8	87
5	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	放課後や土曜日などに、学校の活動や集まりがあれば、参加している。	64.9	73.8	66.9	61.2	57.9	15.9	31
6	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	ゲーム機やケータイ、スマートフォンでゲームをするときは、家の人と時間についてルールを決めている。	46.8	54.8	46.8	48.0	37.5	17.3	23
7	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	ケータイやスマートフォンで電話やメールをするときは、家の人と時間を決めている。	47.9	59.4	49.0	46.6	36.5	22.9	13
8	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	家の人は自分のことを気にかけてくれていると思う。	88.3	90.4	91.2	86.4	85.3	5.1	71
9	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	今まで教えてもらった学校の先生は、自分のことを認めてくれていたと思う。	69.4	76.5	78.1	63.5	59.9	16.6	30
10	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	勉強やスポーツのことで、家の人が応援してくれる。	86.9	91.2	90.4	84.4	81.7	9.5	52
11	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	将来の夢やこれからの進路について家の人と話をする。	75.1	78.6	80.1	72.5	69.0	9.6	51
12	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	新聞に書かれていることについて家の人と話をする。	26.7	41.3	23.5	26.3	15.9	25.4	12
13	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基本的生活習慣	朝食は毎日食っている。	90.7	94.8	92.8	91.6	83.3	11.5	44
14	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基本的生活習慣	朝、起こされなくても自分で起きている。	69.1	65.9	65.3	73.3	72.2	-6.3	100
15	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基本的生活習慣	夜は決まった時間に寝ている。	40.5	45.8	41.8	37.5	37.3	8.5	55
16	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基本的生活習慣	家の人からたよりにされて、何かの役割を任されている。	53.9	57.5	49.2	55.2	54.0	3.5	81
17	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基本的生活習慣	食器の後片付けなど、自分のことは自分でしている。	76.0	75.4	73.3	78.1	77.0	-1.6	95
18	学びの基礎力 学びに向かう力 感じ取る力	普段から「不思議だな」「なぜだろう」と感じることもある。	74.5	82.1	73.3	75.7	66.7	15.4	33
19	学びの基礎力 学びに向かう力 感じ取る力	本やドラマなどを見て、人の生き方に感動することがある。	70.8	75.8	68.5	70.1	68.7	7.1	62
20	学びの基礎力 学びに向かう力 感じ取る力	学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。	73.6	79.8	74.5	71.7	68.7	11.1	45
21	学びの基礎力 学びに向かう力 学習動機	学習して身につけた知識は、いずれ仕事や生活の中で役に立つと思う。	70.3	73.4	68.5	73.3	65.9	7.5	60
22	学びの基礎力 学びに向かう力 学習動機	学習して、分かったりできたりすることが増えるのは、うれしい。	82.8	89.3	84.1	78.1	79.8	9.5	52
23	学びの基礎力 学びに向かう力 学習動機	学校に行くのが楽しい。	72.1	75.8	70.9	70.5	71.4	4.4	74
24	学びの基礎力 学びに向かう力 自己責任	同じ間違いをしないように気を付けている。	87.2	94.0	86.9	85.7	82.1	11.9	42
25	学びの基礎力 学びに向かう力 自己有能感	努力をすれば、自分も大抵のことはできると思う。	79.3	80.6	82.1	75.7	79.0	1.6	86

質問 番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	札幌市	札幌市学力層別					
				A層	B層	C層	D層	A—D層 の差	差の大きい 質問の順位
26	学びの基礎力 学びに向かう力 達成感	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	90.8	93.3	91.2	90.0	88.9	4.4	74
27	学びの基礎力 自ら学ぶ力 学習スキル	黒板に書かれていないことでも、大事なことはノートに書きとめている。	64.0	78.2	68.0	59.4	50.6	27.6	9
28	学びの基礎力 自ら学ぶ力 学習スキル	テストで間違えた問題は、もう一度やり直している。	55.4	70.2	59.4	55.2	36.9	33.3	3
29	学びの基礎力 自ら学ぶ力 学習スキル	授業で学んだことを自分なりにノートにまとめ直している。	33.4	35.1	36.3	31.5	31.0	4.1	77
30	学びの基礎力 自ら学ぶ力 学習定着のための	新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。	38.6	53.2	41.6	36.7	23.0	30.2	7
31	学びの基礎力 自ら学ぶ力 学習定着のための	授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。	61.9	85.7	61.0	58.2	43.0	42.7	2
32	学びの基礎力 自ら学ぶ力 学習定着のための	授業で習ったことを普段の生活と結び付けて考えている。	41.8	51.6	40.6	42.6	32.5	19.1	19
33	学びの基礎力 自ら学ぶ力 学習計画力	習った内容の中で、何がまだ理解できていないか、分かっている。	75.2	84.9	74.5	76.5	65.1	19.8	17
34	学びの基礎力 自ら学ぶ力 学習計画力	その日のめあてを決めて、授業や家で学習に取り組んでいる。	31.7	35.7	27.9	34.3	29.0	6.7	63
35	学びの基礎力 自ら学ぶ力 学習計画力	自分で学習の計画を立てている。	43.5	51.2	46.6	41.8	34.5	16.7	26
36	学びの基礎力 学びを律する力 学習継続力	目標に向けて、普段からこつこつ学習している。	37.4	45.2	37.5	36.3	31.0	14.2	36
37	学びの基礎力 学びを律する力 学習継続力	分からないことはそのままにせず、分かるまで努力している。	60.6	82.9	65.3	58.6	35.7	47.2	1
38	学びの基礎力 学びを律する力 学習のけじめ	学習を始めたなら、他のことに気をとられないで、集中している。	44.2	51.2	45.8	45.4	34.5	16.7	26
39	学びの基礎力 学びを律する力 学習のけじめ	勘違いや思いこみがないか、しっかり見直しをしている。	54.8	68.3	57.8	51.4	42.1	26.2	10
40	学びの基礎力 学びを律する力 学習環境の整備	正しい姿勢で学習している。	51.5	50.4	55.4	52.2	48.0	2.4	84
41	学びの基礎力 学びを律する力 学習環境の整備	必要なものをきちんとそろえてから、学習を始めている。	86.4	85.3	86.5	90.8	83.3	2.0	85
42	学びの基礎力 学びを律する力 授業を受ける姿勢	授業を集中して受けている。	79.4	86.5	84.5	77.3	69.8	16.7	26
43	社会的実践力 問題解決力	調べて分かったことをもとに、考えをまとめることができる。	58.5	77.0	61.4	51.8	44.0	33.0	4
44	社会的実践力 問題解決力	筋道を立てて、ものごとを考えることができる。	59.6	78.2	58.6	54.2	47.6	30.6	5
45	社会的実践力 問題解決力	自分の意見や考えを相手に分かりやすく伝えることができる。	43.1	53.2	45.4	37.5	36.5	16.7	26
46	社会的実践力 問題解決力	調べたことを、パソコンを使ってまとめたり、発表したりすることができる。	46.6	55.2	53.4	41.4	36.5	18.7	20
47	社会的実践力 社会参画力	テレビのニュースや新聞などで、最近の社会のできごとをよく知っている。	62.6	70.2	66.1	59.0	55.2	15.0	34
48	社会的実践力 社会参画力	社会で問題になっていることについて、どうすればよいか、考えたことがある。	49.2	59.1	51.2	45.4	41.3	17.8	21
49	社会的実践力 豊かな心	自分がやらなければならないことは、責任をもってやりぬくことができる。	83.3	87.3	87.3	82.5	76.6	10.7	49
50	社会的実践力 豊かな心	難しいことでも、失敗をおそれないで、取り組んでいる。	61.3	70.2	60.6	61.4	53.2	17.0	25

質問 番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	札幌市	札幌市学力層別					
				A層	B層	C層	D層	A―D層 の差	差の大きい 質問の順位
51	社会的実践力 豊かな心	いつも新しいアイデアを考えたり、工夫したりしている。	59.4	67.9	64.1	54.8	50.8	17.1	24
52	社会的実践力 豊かな心	自分と違う意見も尊重している。	78.1	86.5	82.5	77.3	66.3	20.2	16
53	社会的実践力 自己成長力	自分には、先生や友だちからほめられるような得意なことがある。	67.0	72.2	67.7	66.9	61.1	11.1	45
54	社会的実践力 自己成長力	自分の力をできるだけ伸ばしたいと思う。	92.7	97.2	92.8	91.6	88.9	8.3	56
105	学級力 やりとげる力	みんなで決めた学級目標に力を合わせて取り組んでいる学級です。	64.3	61.5	64.5	65.6	65.7	-4.2	98
106	学級力 やりとげる力	係や当番の活動に責任をもって取り組む学級です。	71.9	73.4	68.5	71.3	74.5	-1.1	93
107	学級力 やりとげる力	自分たちの学習や生活をよくするための話し合いや活動をしている学級です。	48.8	45.6	42.2	52.6	55.0	-9.4	102
108	学級力 やりとげる力	生徒会で決めた活動や学校行事に、団結して取り組んでいる学級です。	74.8	79.0	75.3	74.1	70.9	8.1	59
109	学級力 自律力	学年や学校のためになる活動を提案して、進んで取り組んでいる学級です。	47.7	42.5	42.6	52.2	53.8	-11.3	103
110	学級力 自律力	楽しむときとまじめに集中するときのけじめをつけることができる学級です。	47.8	49.6	43.4	47.4	51.0	-1.4	94
111	学級力 自律力	集合の時間、授業開始の時間、活動終了の時間などを守る学級です。	65.8	67.9	67.2	64.9	63.3	4.6	73
112	学級力 自律力	学級会では、司会や記録を自分たちで担当して話し合いを進める学級です。	78.1	81.7	80.1	78.5	72.5	9.2	54
113	学級力 対話力	発言している人の話を最後までしっかり聞いている学級です。	63.7	69.8	66.5	61.2	57.4	12.4	39
114	学級力 対話力	友達の話に賛成・反対・つけたしと、つなげるように発言している学級です。	53.1	49.6	52.4	57.6	53.0	-3.4	97
115	学級力 対話力	話し合いのとき、考えや意見を進んで出し合う学級です。	50.7	46.0	51.6	52.8	52.6	-6.6	101
116	学級力 対話力	異なる意見や提案をよく聞いて、話し合いをまとめることができる学級です。	61.1	63.9	60.6	59.2	61.0	2.9	83
117	学級力 支え合う力	家庭学習や考査前学習などで、教え合いをしている学級です。	41.8	44.0	37.1	42.0	44.4	-0.4	92
118	学級力 支え合う力	小さなけんかや、トラブルは、話し合いで解決できる学級です。	63.1	60.3	62.9	63.6	65.7	-5.4	99
119	学級力 支え合う力	「ありがとう」を伝え合っている学級です。	72.8	74.6	72.0	69.9	74.9	-0.3	91
120	学級力 支え合う力	授業中、グループ学習やグループ活動でよく協力している学級です。	75.1	80.6	74.8	72.8	72.4	8.2	57
121	学級力 共生力	友達をばかにしたりからかったりせず、一人一人の心や命を大切にする学級です。	45.3	45.2	48.0	43.2	45.0	0.2	89
122	学級力 共生力	友達の間には上下関係がなく、誰とでも平等に接している学級です。	61.7	62.7	64.4	61.2	58.6	4.1	77
123	学級力 共生力	友達のよいところやがんばりを認めて伝え合っている学級です。	66.3	68.7	66.8	67.6	62.4	6.3	64
124	学級力 共生力	男女の仲がよく、共に学んだり活動したりしている学級です。	75.8	80.2	74.0	74.4	74.5	5.7	69
125	学級力 規律力	授業中にむだなおしゃべりをしない学級です。	20.7	21.4	19.2	21.6	20.7	0.7	88

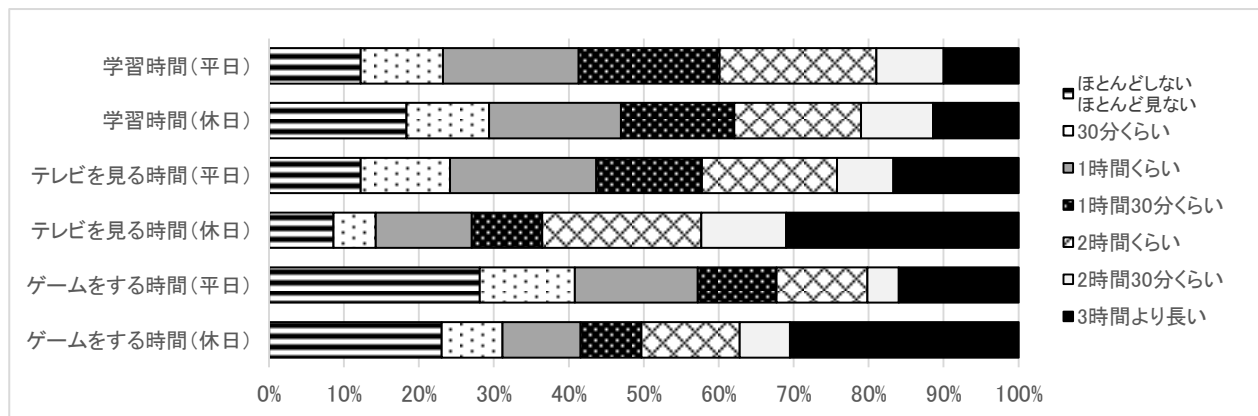
質問 番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	札幌市	札幌市学力層別					
				A層	B層	C層	D層	A―D層 の差	差の大きい 質問の順位
126	学級力 規律力	あいさつ、服装、持ち物などについて、学校のきまりを守っている学級です。	71.9	74.6	77.2	72.3	63.7	10.9	47
127	学級力 規律力	ろうかや教室を整理整頓している学級です。	70.8	75.0	71.6	67.9	68.9	6.1	67
128	学級力 規律力	校外でも人の迷惑にならないように考えて行動できる学級です。	66.4	66.3	66.8	70.7	62.2	4.1	77
129	家庭学習力	家で学習していて、分からないときは教えてくれる人がいる。	64.8	66.1	61.8	69.5	61.8	4.3	76
130	家庭学習力	家で学習するときは、苦手な教科もしっかりと学習している。	70.7	86.1	73.2	66.3	57.4	28.7	8
131	家庭学習力	学校の先生が出した宿題をきちんとやりとげている。	82.4	92.8	86.4	79.5	71.3	21.5	14
132	家庭学習力	次の日の授業に必要な教科書やノートなどは、前の日に準備している。	71.3	72.5	71.6	75.1	66.4	6.1	67
133	家庭学習力	自分の得意な分野を更に伸ばすために、家で自分なりに学んでいることがある。	62.7	67.3	58.4	65.5	60.0	7.3	61
134	家庭学習力	テレビやラジオをつけないで集中して学習している。	56.5	60.2	60.8	58.6	46.4	13.8	37
135	家庭学習力	授業で習ったことは、その日のうちに復習している。	22.3	25.1	22.4	23.0	18.8	6.3	64
85	学習方略 国語	国語の授業で、分からない言葉があれば、国語辞典で調べるようにしている。	38.4	43.7	42.6	34.7	32.9	10.8	48
86	学習方略 国語	国語の授業で、文章の書き方のよい例を参考にして書くことがある。	63.8	69.0	65.3	62.2	58.7	10.3	50
87	学習方略 国語	国語の授業で、物語を作ったことがある。	47.8	54.4	50.2	45.0	41.7	12.7	38
88	学習方略 国語	国語の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	57.8	56.0	61.8	54.6	59.1	-3.1	96
89	学習方略 数学	数学の授業で、グループで協力して問題を解いて発表することがある。	43.7	50.0	42.6	37.5	45.0	5.0	72
90	学習方略 数学	数学の授業で、文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明したことがある。	41.4	58.7	38.6	39.8	28.3	30.4	6
91	学習方略 数学	数学の宿題で、文章題を作ったことがある。	27.8	36.9	26.0	26.4	21.9	15.0	34
92	学習方略 数学	数学の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	49.4	59.5	49.4	46.6	42.0	17.5	22
101	学習方略 英語	英語の宿題で、日常的な出来事について、短い英作文を書いたことがある。	62.4	73.8	66.1	62.2	47.8	26.0	11
102	学習方略 英語	英語の授業で、買い物や旅行などの場面を通して、自分で会話を作ってコミュニケーションしている。	53.5	63.9	57.2	49.0	44.2	19.7	18
103	学習方略 英語	英語の授業で、テレビや電子黒板などを使って、映像やアニメーションを見ながら会話練習をしている。	45.4	48.4	45.8	43.0	44.4	4.0	80
104	学習方略 英語	英語の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	52.4	60.3	52.4	52.6	44.6	15.7	32
93	学習方略 社会	社会の授業で、テレビや電子黒板などを使って、写真や地図・グラフなどを見ることがある。	67.8	71.8	65.7	67.6	66.4	5.4	70
94	学習方略 社会	社会の授業で、調べたことを、新聞形式でまとめたことがある。	36.8	43.7	34.7	37.1	31.9	11.8	43
95	学習方略 社会	社会の授業で、今、世の中で起こっていることについて、資料をもとにして考えることがある。	39.5	43.3	39.0	38.6	37.1	6.2	66

質問 番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	札幌市	札幌市学力層別					
				A層	B層	C層	D層	A-D層 の差	差の大きい 質問の順位
96	学習方略 社会	社会の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	38.5	43.3	36.3	34.8	39.8	3.5	81
97	学習方略 理科	理科の授業で、実験や調査に取り組む前に、仮説を立てたり結果を予想したりしている。	75.1	81.7	76.9	72.5	69.7	12.0	41
98	学習方略 理科	理科の授業で、テレビや電子黒板などを使って、実験や観察のようすや自然のいろいろなようすなどについて、写真や映像などを見ることがある。	65.7	67.9	64.5	62.4	68.1	-0.2	90
99	学習方略 理科	理科の授業で、実験や調査が終わったあとに、気付いたことや新しい疑問などについて、話し合ったりまとめている。	66.5	76.2	65.7	69.3	55.0	21.2	15
100	学習方略 理科	理科の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	63.0	69.8	59.6	61.4	61.6	8.2	57
55	教科について 教科の好き嫌い	国語	62.4	61.1	62.5	65.7	60.3	0.8	
56	教科について 教科の好き嫌い	社会	63.8	79.4	66.9	59.0	50.0	29.4	
57	教科について 教科の好き嫌い	数学	50.9	63.5	51.6	52.2	36.5	27.0	
58	教科について 教科の好き嫌い	理科	63.1	68.7	61.2	61.0	61.9	6.8	
59	教科について 教科の好き嫌い	音楽	68.8	70.2	68.9	69.7	66.3	3.9	
60	教科について 教科の好き嫌い	美術	61.8	60.3	60.2	61.4	65.1	-4.8	
61	教科について 教科の好き嫌い	保健体育	77.0	75.8	72.9	76.5	82.5	-6.7	
62	教科について 教科の好き嫌い	技術	67.4	70.2	65.3	61.4	73.0	-2.8	
63	教科について 教科の好き嫌い	家庭	64.5	64.3	64.9	63.3	65.3	-1.0	
64	教科について 教科の好き嫌い	英語	53.9	78.2	62.5	45.8	29.1	49.1	
65	教科について 教科の好き嫌い	総合的な学習の時間	62.6	61.9	59.0	63.7	65.5	-3.6	
66	教科について 教科の好き嫌い	道徳	50.9	45.2	43.8	55.8	59.1	-13.9	
67	教科について 教科の好き嫌い	学級活動	73.4	77.4	71.3	75.7	69.4	8.0	
68	教科について 教科の理解度	国語	69.5	82.1	76.5	64.8	54.6	27.5	
69	教科について 教科の理解度	社会	64.1	88.1	72.1	54.6	41.7	46.4	
70	教科について 教科の理解度	数学	57.0	79.4	60.6	51.0	37.3	42.1	
71	教科について 教科の理解度	理科	63.2	80.2	68.5	56.6	47.6	32.6	

質問 番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	札幌市	札幌市学力層別					
				A層	B層	C層	D層	A—D層 の差	差の大きい 質問の順位
72	教科について 教科の理解度	音楽	73.2	77.0	75.3	72.5	68.3	8.7	
73	教科について 教科の理解度	美術	68.5	65.5	71.3	68.5	69.0	-3.5	
74	教科について 教科の理解度	保健体育	76.2	78.2	74.1	76.1	76.6	1.6	
75	教科について 教科の理解度	技術	64.0	71.8	68.5	57.8	58.2	13.6	
76	教科について 教科の理解度	家庭	65.5	71.8	69.3	64.9	56.3	15.5	
77	教科について 教科の理解度	英語	57.8	87.3	71.2	50.6	22.2	65.1	

④学習時間 テレビを見る時間 ゲームをする時間

質問 番号	質問内容		母集団	選択肢別回答割合(%)							
				ほとんどしない ほとんど見ない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分 くらい	2時間くらい	2時間30分 くらい	3時間より長い	その他 無回答
81	要素	学習時間	全体	12.2	11.0	18.1	18.8	20.9	9.0	10.0	0.0
	小要素	平日									
		あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、学校の授業以外で1日にどれくらい勉強していますか。(塾で勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)	A層	7.5	7.9	15.9	21.4	21.0	13.1	13.1	0.0
			B層	10.4	8.4	17.5	23.1	20.3	12.4	8.0	0.0
			C層	9.2	13.1	17.5	17.5	27.5	4.0	11.2	0.0
82	要素	学習時間	全体	18.3	11.0	17.6	15.1	16.9	9.6	11.4	0.1
	小要素	休日									
		あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらい勉強していますか。(塾で勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)	A層	12.7	6.3	14.7	19.8	18.3	12.3	15.9	0.0
			B層	16.7	12.0	19.9	13.1	19.9	8.8	9.6	0.0
			C層	12.7	12.7	15.1	15.9	19.5	10.0	13.5	0.4
79	要素	テレビを見る時間	全体	12.2	11.9	19.5	14.1	18.0	7.5	16.7	0.1
	小要素	平日									
		あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。	A層	16.3	14.3	17.5	17.9	19.8	5.2	9.1	0.0
			B層	10.4	11.6	21.5	17.5	17.5	8.4	13.1	0.0
			C層	12.4	12.7	23.5	10.4	15.5	7.6	17.9	0.0
80	要素	テレビを見る時間	全体	8.6	5.6	12.8	9.4	21.2	11.3	31.0	0.1
	小要素	休日									
		あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。	A層	9.1	6.0	11.9	10.3	25.0	11.9	25.8	0.0
			B層	6.4	6.0	13.1	10.0	22.7	14.3	27.5	0.0
			C層	10.4	4.0	13.9	8.4	21.9	9.6	31.5	0.4
83	要素	ゲームをする時間	全体	28.1	12.7	16.4	10.5	12.1	4.2	16.0	0.0
	小要素	平日									
		あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいゲームをしますか。	A層	36.5	15.9	12.7	11.1	13.1	2.8	7.9	0.0
			B層	27.9	13.1	19.5	10.8	12.0	7.6	9.2	0.0
			C層	24.3	13.1	16.7	12.4	14.7	2.0	16.7	0.0
84	要素	ゲームをする時間	全体	23.0	8.1	10.4	8.1	13.1	6.7	30.5	0.0
	小要素	休日									
		あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいゲームをしますか。	A層	30.2	7.9	9.5	9.9	14.3	7.9	20.2	0.0
			B層	22.7	8.0	13.9	8.0	15.5	5.6	26.3	0.0
			C層	17.9	12.0	9.6	6.8	15.5	6.0	32.3	0.0



○学習時間 テレビを見る時間 ゲームをする時間

- ・学校の授業以外に勉強をする時間については、「ほとんどしない」「30分くらい」を合わせると、平日で23.2%、休日で29.3%となっており、学習習慣づくりの大切さなどについて、学校から積極的に、子ども、保護者に対して啓発することが求められる。
- ・平日にテレビを見る時間が、2時間程度より長い生徒の割合は、A層で14.3%、D層で35.7%となっている。
- ・平日にゲームをする時間が、3時間より長い生徒の割合は、A層で7.9%、D層で29.8%となっている。

⑤札幌市全体の共通指標に基づく質問

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)											
					当てはまる	どちらかと言えば、当て はまる	どちらかと言えば、当て はまらない	当てはまらない	その他 無回答							
142	要素	追加質問	全体	47.7	11.4	35.9	38.2	13.8	0.6							
	小要素															
	授業中、自分で疑問やめあてをもって学習に取り組もうとしている。									A層	57.0	15.5	41.3	33.7	9.1	0.4
										B層	50.4	10.0	40.2	39.4	10.0	0.4
										C層	45.0	10.8	33.9	38.6	15.9	0.8
										D層	38.4	9.5	28.6	40.9	20.2	0.8
										A-D層	18.6	-	-	-	-	-
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)											
				当てはまる	どちらかと言えば、当て はまる	どちらかと言えば、当て はまらない	当てはまらない	その他 無回答								
143	要素	追加質問	全体	57.6	20.3	37.0	31.0	11.2	0.5							
	小要素															
	分からないことは、自分で調べてはつきりさせようとしている。									A層	78.2	34.1	44.0	18.3	3.6	0.6
										B層	62.0	21.5	40.2	27.9	10.0	0.4
										C層	53.4	16.7	36.3	35.5	10.8	0.8
										D層	36.4	8.7	27.4	42.5	20.6	0.8
										A-D層	41.8	-	-	-	-	-
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)											
				当てはまる	どちらかと言えば、当て はまる	どちらかと言えば、当て はまらない	当てはまらない	その他 無回答								
144	要素	追加質問	全体	61.2	25.7	35.2	27.8	10.8	0.5							
	小要素															
	勉強していて、おもしろい、楽しいと思うことがよくある。									A層	72.2	32.5	39.7	21.8	6.0	0.6
										B層	60.0	23.1	36.7	31.1	8.8	0.4
										C層	59.4	24.7	34.3	27.5	12.7	0.8
										D層	53.2	22.6	30.2	31.0	15.5	0.8
										A-D層	19.0	-	-	-	-	-
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)											
				当てはまる	どちらかと言えば、当て はまる	どちらかと言えば、当て はまらない	当てはまらない	その他 無回答								
145	要素	追加質問	全体	63.9	22.0	41.5	26.8	9.1	0.5							
	小要素															
	意見の違う人とも、よく話合おうとしている。									A層	77.8	30.6	47.2	19.0	3.2	0.6
										B層	66.0	21.5	44.2	27.1	6.8	0.4
										C層	63.1	19.1	43.4	27.5	9.2	0.8
										D層	48.8	17.1	31.3	33.3	17.5	0.8
										A-D層	29.0	-	-	-	-	-
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)											
				当てはまる	どちらかと言えば、当て はまる	どちらかと言えば、当て はまらない	当てはまらない	その他 無回答								
146	要素	追加質問	全体	59.9	23.8	35.7	26.6	13.3	0.5							
	小要素															
	今の自分にとって、どのように勉強するのがよいか分かっている。									A層	72.6	31.3	41.3	20.2	7.1	0.6
										B層	62.8	22.7	39.8	27.1	10.0	0.4
										C層	53.4	22.3	30.7	30.3	15.9	0.8
										D層	50.8	19.0	31.3	29.0	19.8	0.8
										A-D層	21.8	-	-	-	-	-
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)											
				とても当てはまる	まあ当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	その他 無回答								
24	要素	学びに向かう力	全体	87.2	38.0	49.2	11.2	1.6	0.6							
	小要素	自己責任														
	同じ間違いをしないように気を付けている。									A層	94.0	46.0	48.0	4.8	1.2	0.6
										B層	86.9	39.0	47.8	12.4	0.8	0.6
										C層	85.7	35.5	50.2	12.7	1.6	0.6
										D層	82.1	31.7	50.4	15.1	2.8	0.6
										A-D層	11.9	-	-	-	-	-
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)											
				とても当てはまる	まあ当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	その他 無回答								
30	要素	自ら学ぶ力	全体	38.6	8.1	30.4	44.2	17.2	0.1							
	小要素	学習定着のための方略														
	新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。									A層	53.2	14.3	38.9	38.1	8.7	0.6
										B層	41.6	7.2	34.3	44.6	13.5	0.4
										C層	36.7	6.4	30.3	46.2	17.1	0.4
										D層	23.0	4.8	18.3	48.0	29.0	0.6
										A-D層	30.2	-	-	-	-	-
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)											
				とても当てはまる	まあ当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	その他 無回答								
35	要素	自ら学ぶ力	全体	43.5	16.9	26.6	34.8	21.7	0.6							
	小要素	学習計画力														
	自分で学習の計画を立てている。									A層	51.2	24.2	27.0	31.7	17.1	0.6
										B層	46.6	14.7	31.9	34.7	18.7	0.6
										C層	41.8	18.7	23.1	37.8	20.3	0.6
										D層	34.5	9.9	24.6	34.9	30.6	0.6
										A-D層	16.7	-	-	-	-	-

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合 (%)				
					とても当てはまる	まあ当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	その他 無回答
37	要素	学びを律する力	全体	60.6	18.8	41.8	30.0	9.4	0.6
	小要素	学習継続力							
	分からないことはそのままにせず、分かるまで努力している。								
		A層	82.9	32.1	50.8	14.3	2.8	0.6	
		B層	65.3	19.9	45.4	28.3	6.4	0.6	
		C層	58.6	14.7	43.8	33.5	8.0	0.6	
		D層	35.7	8.3	27.4	44.0	20.2	0.6	
		A-D層	47.2	-	-	-	-	-	
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合 (%)				
					当てはまる	どちらかと言えば、当てはまる	どちらかと言えば、当てはまらない	当てはまらない	その他 無回答
147	要素	追加質問	全体	66.4	24.1	41.9	26.4	7.1	0.5
	小要素								
	意見を書くときには、その理由をはっきりさせて書くようにしている。								
		A層	84.9	36.9	48.0	13.5	1.6	0.6	
		B層	71.6	23.9	47.4	24.7	3.6	0.6	
		C層	62.7	20.3	41.8	31.1	6.0	0.6	
		D層	46.4	15.5	30.6	36.5	16.7	0.6	
		A-D層	38.5	-	-	-	-	-	
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合 (%)				
					当てはまる	どちらかと言えば、当てはまる	どちらかと言えば、当てはまらない	当てはまらない	その他 無回答
148	要素	追加質問	全体	61.9	24.5	37.0	27.4	10.5	0.5
	小要素								
	意見を発言する前に、自分の考えがうまく伝わるように、話の内容や順序を考えている。								
		A層	73.4	32.1	41.3	22.2	4.4	0.6	
		B層	66.8	27.5	39.0	24.3	8.8	0.6	
		C層	59.0	21.5	37.1	29.9	10.8	0.6	
		D層	48.4	17.1	31.0	33.3	17.9	0.6	
		A-D層	25.0	-	-	-	-	-	
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合 (%)				
					当てはまる	どちらかと言えば、当てはまる	どちらかと言えば、当てはまらない	当てはまらない	その他 無回答
149	要素	追加質問	全体	32.0	12.8	19.1	35.7	31.9	0.5
	小要素								
	授業中、自分の意見を進んで発言している。								
		A層	47.6	18.7	29.0	32.5	19.8	0.6	
		B層	31.6	13.9	17.5	35.9	32.3	0.6	
		C層	28.9	10.8	17.9	35.1	35.5	0.6	
		D層	20.0	7.9	11.9	39.7	39.7	0.6	
		A-D層	27.6	-	-	-	-	-	
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合 (%)				
					当てはまる	どちらかと言えば、当てはまる	どちらかと言えば、当てはまらない	当てはまらない	その他 無回答
150	要素	追加質問	全体	83.5	45.0	38.0	13.0	3.4	0.6
	小要素								
	授業中、友達や先生の説明、意見を終わりまで聞いている。								
		A層	92.8	54.0	38.5	6.3	0.8	0.6	
		B層	88.8	47.0	41.4	10.8	0.4	0.6	
		C層	82.7	44.6	37.5	13.1	4.0	0.6	
		D層	70.0	34.5	34.9	21.8	7.9	0.6	
		A-D層	22.8	-	-	-	-	-	
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合 (%)				
					当てはまる	どちらかと言えば、当てはまる	どちらかと言えば、当てはまらない	当てはまらない	その他 無回答
151	要素	追加質問	全体	78.1	37.7	40.0	15.8	6.0	0.5
	小要素								
	人の意見を聞いて、それを参考にして自分の考えを見直すことがよくある。								
		A層	86.5	44.8	41.7	12.3	1.2	0.6	
		B層	81.6	39.4	41.8	13.9	4.4	0.6	
		C層	78.3	37.8	39.8	17.1	4.4	0.6	
		D層	66.4	29.0	36.9	19.8	13.5	0.6	
		A-D層	20.1	-	-	-	-	-	
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合 (%)				
					当てはまる	どちらかと言えば、当てはまる	どちらかと言えば、当てはまらない	当てはまらない	その他 無回答
152	要素	追加質問	全体	82.9	43.6	38.9	12.5	4.5	0.5
	小要素								
	習ったことや知っていることを使って、自分で考えることが大事だと思う。								
		A層	92.5	57.1	35.3	6.7	0.8	0.6	
		B層	88.8	47.0	41.4	6.8	4.4	0.6	
		C層	79.9	39.4	39.8	15.9	4.0	0.6	
		D層	70.8	31.0	39.3	20.2	8.7	0.6	
		A-D層	21.7	-	-	-	-	-	
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合 (%)				
					当てはまる	どちらかと言えば、当てはまる	どちらかと言えば、当てはまらない	当てはまらない	その他 無回答
153	要素	追加質問	全体	87.5	67.3	19.7	6.7	5.8	0.6
	小要素								
	学校で好きな授業がある。								
		A層	89.7	64.3	25.4	6.3	4.0	0.6	
		B層	87.2	68.9	17.9	6.8	6.0	0.6	
		C層	88.8	70.1	17.9	4.0	7.2	0.6	
		D層	84.3	66.3	17.1	9.5	6.0	0.6	
		A-D層	5.4	-	-	-	-	-	

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					当てはまる	どちらかと言えば、当て はまる	どちらかと言えば、当て はまらない	当てはまらない	その他 無回答
154	要素	追加質問	全体	70.9	33.6	36.9	21.9	7.1	0.5
	小要素								
	授業中に分からないことがあったときに、友達や先生に聞くようにしている。								
		A層	83.3	45.2	38.1	13.5	3.2	0.0	
		B層	68.0	30.3	37.5	26.3	5.6	0.4	
		C層	72.7	34.7	37.5	19.5	7.6	0.8	
		D層	59.2	24.2	34.5	28.6	11.9	0.8	
		A-D層	24.1	-	-	-	-	-	
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					当てはまる	どちらかと言えば、当て はまる	どちらかと言えば、当て はまらない	当てはまらない	その他 無回答
155	要素	追加質問	全体	63.3	30.9	32.1	20.9	15.7	0.5
	小要素								
	困ったとき、悩みがあるときは、人に相談するようにしている。								
		A層	67.9	29.0	38.9	21.4	10.7	0.0	
		B層	66.4	29.9	36.3	20.7	12.7	0.4	
		C層	61.4	35.1	25.9	19.1	19.1	0.8	
		D層	57.2	29.8	27.0	22.2	20.2	0.8	
		A-D層	10.7	-	-	-	-	-	
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					思う	どちらかと言えば、そう 思う	どちらかと言えば、そう 思わない	思わない	その他 無回答
156	要素	追加質問	全体	49.9	26.0	23.5	25.5	24.3	0.6
	小要素								
	外国の人と交流する機会をもちたいと思う。(話をしたり、一緒に何かの活動をしたりするなど)								
		A層	65.5	38.1	27.4	23.0	11.5	0.0	
		B層	51.4	25.9	25.1	28.3	19.9	0.8	
		C層	46.2	23.1	22.7	25.1	28.3	0.8	
		D層	36.0	16.7	19.0	25.8	37.7	0.8	
		A-D層	29.5	-	-	-	-	-	
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					たくさんある	少しある	あまりない	ない	その他 無回答
157	要素	追加質問	全体	82.0	52.2	29.2	11.1	6.8	0.7
	小要素								
	札幌には、好きな場所やものがある。(自然、建物、イベント、歴史、文化など)								
		A層	84.5	46.8	37.7	11.1	4.4	0.0	
		B層	80.4	48.6	31.5	11.2	8.4	0.4	
		C層	83.1	56.6	25.5	11.2	5.6	1.2	
		D層	79.9	56.7	22.2	11.1	8.7	1.2	
		A-D層	4.6	-	-	-	-	-	

○札幌市全体の共通指標に基づく質問について

- ・ 肯定的な回答の割合が最も高い質問は、「学校で好きな授業がある」(87.5%)、これとほぼ同程度の割合で「同じ間違いをしないように気をつけている」(87.2%)となっている。
- ・ 次に肯定的な回答の割合が高い質問は、「授業中、友達や先生の説明、意見を終わりまで聞いている」(83.5%)、「習ったことや知っていることを使って、自分で考えることが大事だと思う」(82.9%)となっている。既習事項等を正確に身に付けることや、他者から学ぶことが大切であると認識している生徒が多いと考えられる。
- ・ 肯定的な回答の割合が最も低い質問は、「授業中、自分の意見を進んで発言している」(32.0%)、次いで「新しく習ったことは、何度もくり返して練習している」(38.6%)となっている。
- ・ 教科学力と関係が大きい質問は、「分からないことはそのままにせず、分かるまで努力している」(A-D層の差が47.2ポイント)、「分からないことは、自分で調べてはっきりさせようとしている。」(A-D層の差が41.8ポイント)となっている。困難な課題に対しても、粘り強く、主体的に学ぶ意欲を育てるような指導の工夫が求められる。

⑥その他

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)						
					とても当てはまる	まあ当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	その他 無回答		
138	要素	追加質問	全体	74.6	35.7	38.4	15.6	9.7	0.5		
	小要素		A層	79.4	38.1	41.3	15.5	5.2	0.0		
	自分には、よいところがあると思う。		B層	75.2	34.7	40.2	16.3	8.4	0.4		
			C層	72.3	35.5	36.3	14.7	12.7	0.8		
			D層	71.6	34.9	36.1	15.9	12.3	0.8		
			A-D層	7.8	-	-	-	-	-		
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)						
					とても当てはまる	まあ当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	その他 無回答		
139	要素	追加質問	全体	70.7	43.8	26.5	17.0	12.2	0.5		
	小要素		A層	72.6	47.6	25.0	18.7	8.7	0.0		
	将来の夢や目標をもっている。		B層	67.6	40.2	27.1	19.5	12.7	0.4		
			C層	73.1	43.4	29.1	16.3	10.4	0.8		
			D層	69.2	43.7	25.0	13.5	17.1	0.8		
			A-D層	3.4	-	-	-	-	-		
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)						
					とても当てはまる	まあ当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	その他 無回答		
140	要素	追加質問	全体	72.0	47.3	24.0	16.0	11.7	1.0		
	小要素		A層	81.0	57.5	23.4	11.9	7.1	0.0		
	読書は好きだ。		B層	71.6	49.4	21.9	18.3	10.0	0.4		
			C層	73.3	45.4	26.7	15.1	11.2	1.6		
			D層	61.9	36.5	24.2	18.7	18.7	2.0		
			A-D層	19.1	-	-	-	-	-		
質問 番号	質問内容		母集団	選択肢別回答割合(%)							
				0冊	1,2冊	3,4冊	5,6冊	7,8冊	9,10冊	11冊以上	その他 無回答
78	要素	読書冊数	全体	12.8	43.0	19.6	9.8	4.9	2.7	7.2	0.0
	小要素		A層	7.5	42.9	23.4	8.7	6.7	1.2	9.5	0.0
	あなたは、この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか。(教科書や参考書、マンガは数にいません。)		B層	10.0	44.6	18.7	12.7	6.4	2.0	5.6	0.0
			C層	13.1	43.4	21.1	8.4	3.6	3.2	7.2	0.0
			D層	20.6	40.9	15.1	9.5	2.8	4.4	6.7	0.0
			A-D層	-	-	-	-	-	-	-	-
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)						
					とても当てはまる	まあ当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	その他 無回答		
141	要素	追加質問	全体	80.3	58.3	21.6	12.1	7.4	0.5		
	小要素		A層	80.6	59.9	20.6	13.9	5.6	0.0		
	運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きだ。		B層	76.8	54.2	22.3	14.7	8.4	0.4		
			C層	79.5	59.0	19.9	12.4	8.0	0.8		
			D層	84.4	59.9	23.8	7.5	7.9	0.8		
			A-D層	-3.8	-	-	-	-	-		
質問 番号	質問内容		母集団	選択肢別回答割合(%)							
				部活動に参加し、 熱心に活動している	部活動には参加しているが、あまり熱心 には活動していない	以前は参加していたが、 今は参加していない	今まで参加した ことはない	その他 無回答			
136	要素	部活動	全体	50.5	17.8	11.8	19.2	0.7			
	小要素		A層	54.4	19.4	8.3	17.5	0.4			
	あなたは現在、部活動に参加していますか。		B層	58.6	16.3	8.0	16.3	0.8			
			C層	47.0	17.1	11.6	23.5	0.8			
			D層	42.5	18.3	19.0	19.4	0.8			
			A-D層	-	-	-	-	-			
質問 番号	質問内容		母集団	選択肢別回答割合(%)							
				高校まで	専門学校・ 各種学校まで	短期大学まで	四年制大学まで	大学院まで	その他	その他 無回答	
137	要素	進路意識	全体	14.8	24.3	6.3	36.9	13.5	3.4	0.8	
	小要素		A層	2.0	11.5	2.4	60.3	19.4	4.0	0.4	
	あなたは将来、どの学校まで進みたいですか。		B層	8.4	17.1	6.8	45.8	17.9	3.2	0.8	
			C層	19.9	33.5	7.6	27.1	7.6	3.2	1.2	
			D層	29.0	34.9	8.3	14.7	9.1	3.2	0.8	
			A-D層	-	-	-	-	-	-	-	

[参考] 教科の好き嫌いと理解度についての肯定群回答割合

教科	好き	理解度
国語	62.4	69.5
社会	63.8	64.1
数学	50.9	57.0
理科	63.1	63.2
音楽	68.8	73.2
美術	61.8	68.5
保健体育	77.0	76.2
技術	67.4	64.0
家庭	64.5	65.5
英語	53.9	57.8
総合的な学習の時間	62.6	
道徳	50.9	
学級活動	73.4	